

KENWOOD

デュアルサイズDVD/MDレシーバー

DVX-77

Functional Operation

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用する
ことはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

ソースセレクション/交通情報音量設定
CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード

DVD/VCDプレイ
DVDセットアップ
TUNERモード

Name Set

ディスプレイコントロール
オーディオコントロール

サウンドマネジメントシステム
サウンドコントロール
イコライザーコントロール

Function

● 使いこなし!

ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

● ここさえ読めばひとまずOK!

イージーオペレーション

EZ Operation

EZ Operation



オプション

リモートコントロール

困ったときは…

Help

Help

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
使用上のご注意	8
ディスクの取り扱い	12

ここさえ読めばひとまずOK！
イージーオペレーション

EZ Operation

MD、CD/MP3/WMA、FM/AM放送、交通情報の聴きかた・・・14

リモコンでも操作できるゾ！

リモートコントロール

リモートコントロール	92
------------	----

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら・・・
困ったときのお助けページ！

Help

Help? MP3/WMA	104
Help? MD Group	106
Help? Multi Key	107
Help? Operation	108
Help? DVD Cord	118
Help? Word	119

付 録

取り付け時のご注意	126
取り付け用付属部品一覧	128
取り付け手順	128
取り付け	129
電源ハーネスの接続	130
システム配線	132
保証とアフターサービス	134
仕様一覧	135

使いこなし！ ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

ソースセレクション	16
ソース選択	
交通情報音量設定	17
交通情報音量設定	
CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード	18
トラック／ファイルサーチ	
ディスク／フォルダ／グループサーチ	
マニュアルサーチ	
ポーズ	
ランダムプレイ	
マガジンランダムプレイ	
グループランダムプレイ	
スキッププレイ	
リピートプレイ	
テキストスクロール	
ダイレクトサーチ	
グループセレクト	
フォルダセレクト	
CD/MP3/WMAストップ	
DVD/VCDプレイ	26
DVD/VCD映像の情報表示	
トラック／チャプター／シーンサーチ	
マニュアルサーチ	
ポーズ	
コマ送り／戻し	
リピートプレイ	
字幕の言語切り替え	
音声言語切り替え	
音声出力チャンネル切り替え	
映像アングルの切り替え	
ボリュームラベルスクロール	
画面の拡大表示	
DVDのメニューを使う	
ダイレクトサーチ	
DVD/VCDストップ	
セットアップ	34
セットアップ	
ディスプレイメニュー	
オーディオ設定メニュー	
CD設定メニュー	
DVD設定メニュー	
言語設定メニュー	
パレンタル設定	
パレンタル変更	
TVタイプ設定	
TUNER モード	44
バンド切り替え	
チューニング	
マニュアルメモリー	
オートメモリー	
プリセットチューニング	
チューナーリストチューニング	
Name Set	48
DNPS (ディスクネームプリセット) /	
SNPS (ステーションネームプリセット)	
漢字の入力	
AUXネームセレクト	

ディスプレイコントロール52

- 時計表示切り替え
- 時刻合わせ
- 操作パネル角度調節
- デモンストレーション切り替え
- ディスプレイ表示切り替え
- スピーアナ切り替え
- 壁紙の選択
- 動画の選択
- サブスピーアナ表示の選択

オーディオコントロール60

- オーディオコントロール
- ゾーンコントロール

サウンドマネジメントシステム62

- サウンドマネジメントシステムとは
- サウンドマネジメントシステム
- キャビン（車種）の選択
- タイムディレイの調節
- タイムディレイ設定のメモリー
- スピーカーセットアップ
- クロスオーバーの調節
- クロスオーバー設定のメモリー
- チャンネルレベル設定
- ダイナミックレンジ設定

サラウンドコントロール72

- サラウンドコントロールとは
- サラウンドコントロール
- ドルビープロロジックII
- ドルビープロロジックIIサラウンド設定
- サウンドフィールドコントロール (SFC)
- SFCサラウンド設定
- ポジション設定
- ポジション調節
- ポジション設定のメモリー

イコライザーコントロール81

- イコライザー機能を使用する前に
- イコライザーカーブの選択
- イコライザーカーブの調節
- ユーザーイコライザーカーブのメモリー
- ユーザーイコライザーカーブの呼び出し

Function86

- ファンクションセット
- セキュリティコード

オプションも使いこなそう！ オプションズ

Options

TV コントロール90

- チャンネル選択
- バンド／ビデオ切り替え
- プリセットコール
- マニュアルメモリー
- 音声多重切り替え

ソースセレクション/交通情報音量設定

CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード

DVD/VCDプレイ

DVDセットアップ

TUNERモード

Name Set

ディスプレイコントロール

オーディオコントロール

サウンドマネジメントシステム

サラウンドコントロール

イコライザーコントロール

Function

オプション

リモートコントロール

Help

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の4つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イーザーオペレーション

EZ Operation

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。

ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

EZ Operationを習得したらここへ。

すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

本機に接続できる別売品の機能の使いかたを説明しています。

別売品を接続しているときにお読みください。

Help

- ? MP3/WMA プレイできるMP3/WMAファイルのメディアやそのフォーマットの説明をしています。
- ? MD Group グループ登録済みMDの検索機能などを説明しています。
- ? Multi Key マルチキーシステムについて説明しています。
- ? Operation 思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。
- ? DVD Cord DVDプレイ時の言語コードリストを説明しています。
- ? Word 取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、リモコンによる操作を説明した [リモートコントロール]、本機の取り付け方法などを説明した [付録] があります。

● 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて



共通の操作

ソースにかかわらず共通の操作を表しています。



ディスクの操作

MDまたはDVD/VCD/CD/MP3/WMAをプレイする操作を表しています。

なお、この取扱説明書では、MDとCD/DVD/VCDをまとめて「ディスク」と呼んでいます。また、MP3/WMAの収録されたCD-Rなどを「メディア」と呼んでいます。



チューナーの操作

FM/AM放送を受信する操作を表しています。



注意

ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。



メモ

本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。
また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短かく押す

ボタンをチョンと押すことを表します。



1秒以上押す

1秒以上（または2秒以上）押す操作を表します。



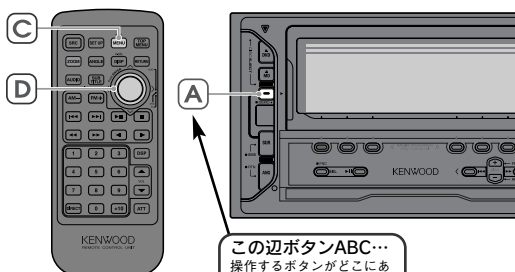
動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。
上記では1秒間押すことを示しています。また、メモリーに書き込むときなどは2秒間押します。押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。

選んで押す

(付属リモコンでの操作)
左右上下に動かしてボタンをチョンと押す操作を表します。



ソースセレクション/



・ソース選択

プレイするソースを切り替えます。

B

SRC

表示される文字または内容

押すたびに次の順で切り替わります。



FM/AM放送を受信

MDをプレイ

電源をオンのままでは機能停止

内容の説明
ディスプレイ表示スクロール
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。

3 値を切り替え

D

ステータス情報

表示	
ON	ステータス
OFF	ステータス

壁紙タイプ

表示	
タイプ 1	表示
タイプ 2	表示

オーディオ情報

表示	
ON	文字
OFF	文字

デモンストレーション切り替え

デモンストレーション表示にします。

A

1秒

Demonstration On

ディスプレイ表示
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

“Demonstration On”と表示されるまで押し続けます。

ディスプレイメニュー

(付属リモコンでの操作)
ディスプレイの設定を選択します。

1 “ディスプレイ”を選びます

「セットアップ」を参照してディスプレイメニューを選択します。

2 設定したい項目を選択します

D



上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

ソースセレクション/交通情報音量設定

CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード

DVD/VCDプレイ

DVDセットアップ

TUNERモード

Name Set

ディスプレイコントロール

オーディオコントロール

サラウンドマネジメントシステム

サラウンドコントロール

イコライザーコントロール

Function

オプション

リモートコントロール

Help

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」
をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

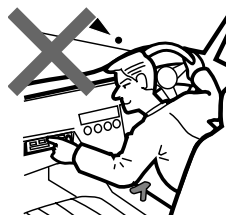
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。



警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入・取り出し など）
- テレビやビデオを見る

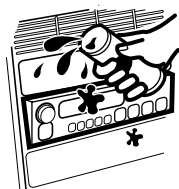


実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

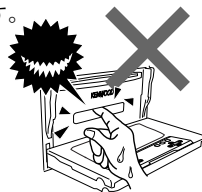
製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

⚠ 注意



禁止

操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。



禁止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。
ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

使用上のご注意

安全走行のために

走行中はフロント映像出力に接続されたテレビやビデオの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。

本機に接続できるシステムについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムが接続できます。接続できるディスクチェンジャー、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムの機種はカタログをご覧ください。

1997年以前に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

“O-Nスイッチ”の付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは“N”側に設定してください。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

本機のDNPS機能はCDチェンジャーに内蔵の記憶機能を使用するのではなく本機内部の記憶機能を使用します。このため、CDチェンジャーに記憶されているDNPS可能枚数とは関係なく、すべてのCDの合計で50枚まで記憶することができます。

別売品のCD/MDスイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで、またはディスクチェンジャーとLX-BUS接続の機器を1台ずつ接続することができます。接続などの詳しい説明は「システム配線」(132ページ)および、KCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

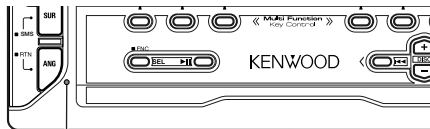
オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたリ交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help」(108ページ)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

表示パネルがスライドした状態のときに異常が起こり閉じられない場合は、表示パネルの上部を引き上げながら下部を押すことにより手動で閉めることができます。

本機のお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。




保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

本機で再生できないディスク

以下のディスクは本機では再生できません。

- DVD-ROM/ DVD-RAM ● S-VCD/ HQ-VCD
- CDV（音声のみ再生可能）
- CD-G/ CD-EG/ CD-EXTRA（音声のみ再生可能）
- フォトCD

また、DVD-R/RW、DVD+R/RWは、DVD-Videoフォーマットに準じて記録されていない場合も再生できません。

本機でプレイ可能な音楽CDは、  マークの入ったCDだけです。

前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

使用できないディスク

特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているディスクは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

レーベル面にシールの貼ってあるディスクを使用すると、ディスクが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるディスクは使用しないでください。

インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

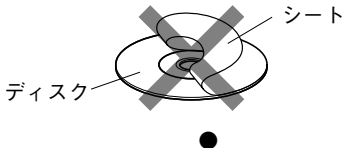
使用上のご注意

レンズクリーナーについて

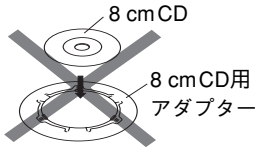
レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

ディスク用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDはアダプターは使用しないでください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因となります。

本機は、米国特許及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

"DTS" and "DTS Digital Surround" are registered trademarks of Digital Theater Systems, Inc.





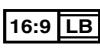
この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。

リージョン番号

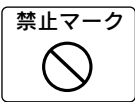
本機で再生できるDVDリージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または2を含むもの）と「ALL」です。
DVDディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

DVDディスクのマーク

記号	内容
	このマークが付いているディスクはどのDVDプレーヤーでも再生できます。 リージョン番号を表します。
	収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32カ国語まで収録できます。
	複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、お好みのアングル（角度）で見ることができます。
	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ(4:3)で見た場合、ワイド映像(16:9)は上下に黒帯の入る（レターボックス）映像となります。

操作規制マークについて

DVDやVCDディスクは、再生箇所により本機でのプレイ操作等規制される場合があります。このようなときは右のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクの取扱説明書をご覧ください。

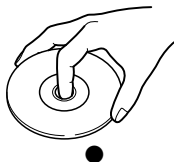


ディスクの取り扱い

ディスクの取り扱いについて

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。

取り扱いは記録面に触れないようにしてください。（レーベルが印刷されていない面が記録面です。）

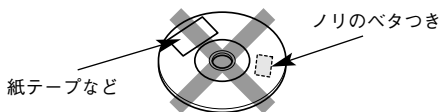


CD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。

詳細な注意事項がディスクのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。

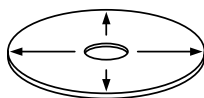
ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。



ディスクのお手入れ

ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



ディスクの保存

直射日光が当たる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高くなる場所には置かないでください。

特にCD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクに比べて高温、多湿の環境に弱く、車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

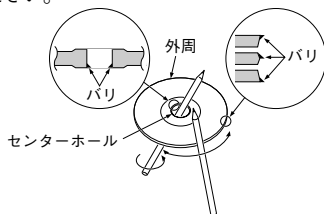
長期間演奏しないときは、本機からディスクを取り出して、ケースに入れて保管してください。

キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

新しいディスクを使うときは

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。

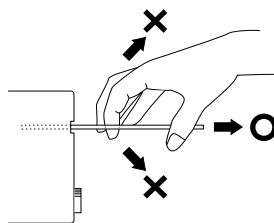
"バリ"がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



ディスクの取り出しかた

本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。



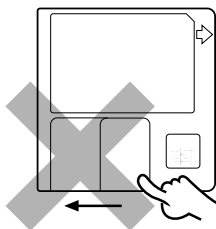
MDのお手入れ

カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布でふき取ってから使用してください。特に油污れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。また、お手入れされるときは、シャッターを開かないようご注意ください。

MDのシャッターについて

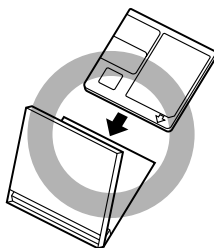
MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。

シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。



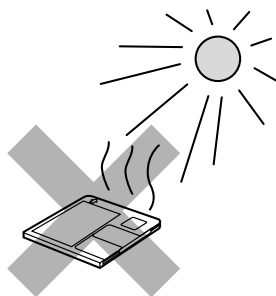
保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。



高温に注意

MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。





ディスクのプレイは簡単！ ディスクを差し込むだけです。



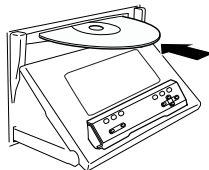
DVD/VCD/CD/MP3/WMAをプレイするときは…

(DVD EJECT) を押すと操作パネルがスライドします。
プレイするDVD/VCD/CD/MP3/WMAディスクを差し込みます。
ディスクが引き込まれ、パネルが閉まります。



DVD/VCD/CD/MP3/WMAディスクを取り出すときは…

(DVD EJECT) を押します。
操作パネルがスライドして、ディスクがイジェクトされます。
もう一度 (DVD EJECT) を押すと、パネルは閉じます。



- DVDとVCDの映像を見るためには別売品のTVモニターが必要です。
- プレイできるディスクのフォーマット、書き込み方法の注意などが「使用上のご注意」(8ページ)、「Help? MP3/WMA」(104ページ)に記載してあります。ディスクを作成する前にご覧ください。
- CDを挿入するときは必ず (DVD EJECT) を押して操作パネルをスライドしてください。「操作パネル角度調節」(53ページ)で角度を調整している状態でCDを無理に挿入するとCDに傷を付ける原因となります。



電源をオン/オフします。

押すと電源がオンになります。
1秒以上押すと、電源がオフになります。



ディスクのプレイとFM/AM放送を切り替えます。

ディスクが入っているときに押すと、FM/AM放送、MD、DVD、ALL OFFに切り替わります。
MDが入っているときは インジケーターが点灯し、
DVD/VCD/CD/MP3/WMAディスクが入っているときは インジケーターが点灯します。



DVDオペレーションカバーを開閉します。



DVDオペレーションカバーの中心位置を押して開閉します。



プレイする曲/チャプター/シーンを選びます。



受信する放送局を選びます。

受信状態の良い放送局を自動的に受信します。
チューニングモードの設定により、周波数を1ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信するようにもできます。(86ページ)



交通情報の周波数 (1620kHz/ 1629kHz/ 522kHz)を選びます。

ボタンを1秒以上押すと、交通情報を受信できます。



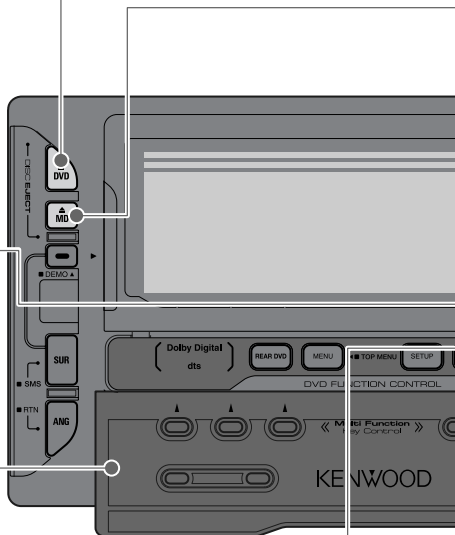
音量を素早く下げます。

もう一度押すと、元の音量に戻ります。



1秒以上押すと、交通情報を受信します。

もう一度、1秒以上押すと元に戻ります。



- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 操作パネルやDVDオペレーションカバーを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。



DVD/VCD/
CD/MP3/WMAの操作



チューナーの操作



共通の操作



MDをプレイするときは…

⏏ (MD EJECT) を押すと操作パネルがスライドします。
プレイするMDを差し込みます。
MDが引き込まれ、パネルが閉まります。

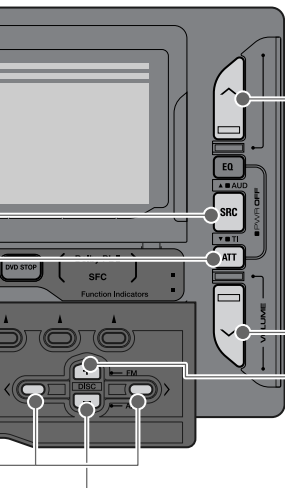


MDを取り出すときは…

⏏ (MD EJECT) を押します。
操作パネルがスライドして、MDがイジェクトされます。
もう一度 ⏏ (MD EJECT) を押すとパネルは閉じます。



- プレイ中のMDがLP 2 モードのときは“LP 2” インジケーター、LP 4 モードのときは“LP 4” インジケーターが点灯します。
- 本機はグループ管理機能を搭載しています。詳しくは、「Help? MD Group」(106) をご覧ください。



音量を
上げます。



音量を
下げます。



FM放送のバンド (FM1/FM2)
を切り替えます。



**次のMP3/WMAフォルダ
/MDグループを選びます。**



AM放送のバンド (AM1/AM2)
を切り替えます。



**前のMP3/WMAフォルダ
/MDグループを選びます。**



- DVD/VCD/CD/MP3/WMAディスクがイジェクトされないときは、DVD/VCD/CD/MP3/WMAディスクが出るまで ⏏ (DVD EJECT) を押し続けてください。
- ディスクのイジェクト状態 (操作パネルをスライドさせた状態) で可能な操作は、ディスクの挿入、イジェクト、音量調整、ソース選択などだけです。
- スライドさせたパネルに無理な力を加えないでください。
- DVDはディスクごとで録音レベルの差が大きいメディアです。本機の音量を大きく設定しているときに、DVDの交換をする場合は、一時音量を下げてからDVDの交換を行ってください。

ソースセレクション/交通情報音量設定

CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード

DVD/VCDプレイ

DVDセットアップ

TUNERモード

Name Set

ディスプレイコントロール

オーディオコントロール

サラウンドマネジメントシステム

サラウンドコントロール

イコライザーコントロール

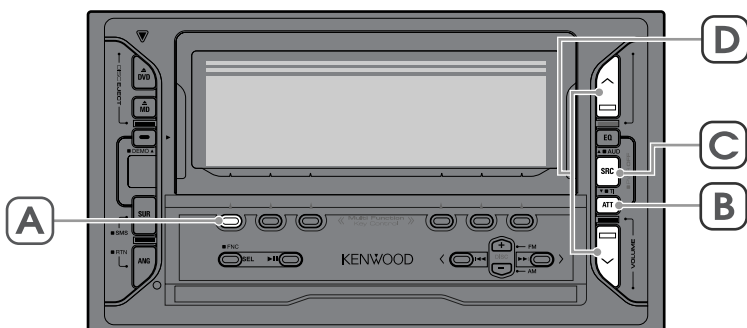
Function

オプション

リモートコントロール

Help

ソースセレクション/

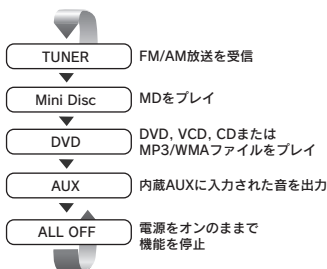


ソース選択

プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。



プレイするソースを選びます。
また、交通情報受信時の音量を設定します。

- DVD/VCD/CD/MP3/WMAをプレイするときは、ディスクが挿入されているときに“DVD”表示を選択します。
- AUXソース（“AUX”）には「ファンクションセット」（86ページ）の“AUX”項目が“On”に設定されているときに切り替わります。
- 外部ディスクプレーヤーを選択時の表示例
“CD Changer（1～2）”：CDチェンジャー
“MD Changer（1～2）”：MDチェンジャー
“Disc Changer（1～2）”：ディスクチェンジャー
“HDD-EX”：HDX-710（別売品）などの音楽ファイル（KSF）ソース
- DVDやVCDの映像を見るときは、接続しているモニターをビデオ入力映像に切り替えてください。
- 別売品のKCA-S210AまたはCA-C1AXに入力したAUXソースは、次のように選択できます。
KCA-S210Aに入力したAUXソースを選ぶ場合：
“AUX1”表示を選択。
CA-C1AXに入力したAUXソースを選ぶ場合：
“Disc Changer”表示を選択。
（確定後に“AUX Mode”表示になります）

交通情報音量設定

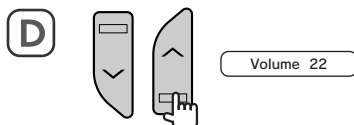
交通情報受信時の音量をメモリーします。

1 交通情報モードにします



“Traffic Information”と表示されるまで押し続けます。

2 設定したい音量にします



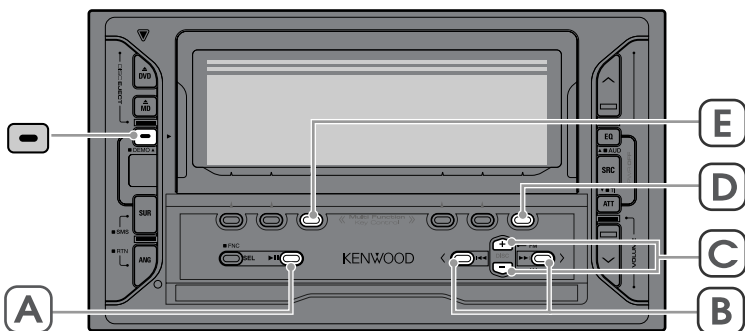
3 音量をメモリーします



音量表示が1回点減するまで押し続けます。
次回から交通情報モードにすると、自動的にこの設定した音量になります。

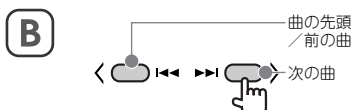
- 交通情報を受信中は「サウンドフィールドコントロール（SFC）」（76ページ）と「イコライザーコントロール」（81ページ）の効果が一時的に解除されます。また、これらの設定もできません。

CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード



トラック／ファイルサーチ

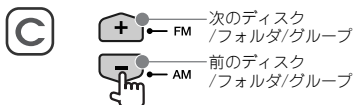
プレイする曲を選びます。



ディスク／フォルダ／グループサーチ

(ディスクチェンジャー、MP3/WMAメディア、KSF、グループ登録済みMDのみ)

プレイするディスクやフォルダを選びます。



マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り／早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り／早戻しされます。

- KSFをプレイ時は、マニュアルサーチできません。
- MP3/WMAファイルをプレイ時は、早戻しができません。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します。



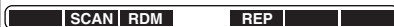
もう一度押すとプレイを再開します。

ランダムプレイ

現在のディスクやフォルダ、全グループ内の曲をランダムな順でプレイします。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で作動します。



<ソースキーモード>になっていない場合は、を押します。



押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。ランダムプレイ中は“RDM”が反転表示されます。

- を押すと、次の曲をランダムに選択します。(KSFプレイ時はまたはを押します。)
- 全グループ内の曲をランダムプレイ中に、グループサーチはできません。

CD/MD/MP3/WMAや別売品のディスクチェンジャー、HDX-710の音楽ファイル（KSF）ソースでいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なCD/MDの聴きかたはEZ Operation（14ページ）をご覧ください。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key」（107ページ）をご覧ください。

● マガジンランダムプレイ


（ディスクチェンジャーのみ）

ディスクチェンジャーにセットされているディスクの中からランダムな順でプレイします。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。

SCAN RDM REP MRDM

<ソースキーモード>になっていない場合は、を押します。




MRDM

M-Random



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。マガジンランダムプレイ中は“MRDM”が反転表示されます。



を押すと、次の曲をランダムに選択します。

● グループランダムプレイ


（グループ登録済みMDのみ）

グループ登録済みMDを再生中にグループ内の曲をランダムな順でプレイします。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。

SCAN RDM REP GRDM

<ソースキーモード>になっていない場合は、を押します。



GRDM


Group Random



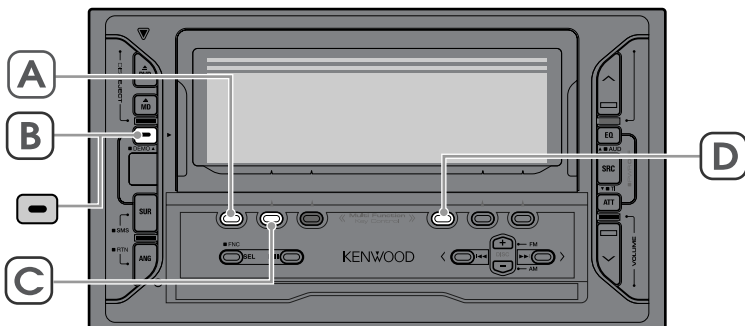
押すたびに、グループランダムプレイがオン/オフされます。

グループランダムプレイ中は“GRDM”が反転表示されます。



を押すと、次の曲をランダムに選択します。

CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード



● スキャンプレイ

ディスクやフォルダ、グループ内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探します。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。

SCAN RDM REP

<ソースキーモード>になっていない場合は、を押します。

1 スキャンプレイを開始します



SCAN



Track Scan

CD/MD時

Scan

MP3/WMA時

File Scan

KSF時

スキャンプレイ中は“SCAN”が反転表示されます。

2 聴きたい曲のところで...



SCAN



その曲からプレイされます。

● すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。

● リピートプレイ

現在聴いている曲またはディスク/フォルダ/グループ内の曲を繰り返しプレイします。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。

SCAN RDM REP

<ソースキーモード>になっていない場合は、を押します。

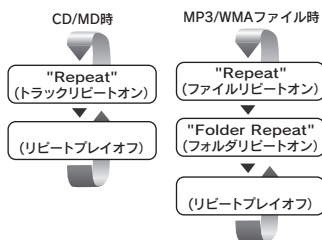


REP



押すたびに、次のようにオン/オフします。

リピートプレイ中は“REP”が反転表示されます。



Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key」(107ページ)をご覧ください。

グループ登録済みMD時



HDD EX時



*: “Group Repeat” は「ファンクションセット」(86ページ)で“MD Group”項目が“On”のときに選択できます。

CD/MDチェンジャー時



テキストスクロール

テキスト表示を、スクロール設定が“Manual”のときにスクロールさせます。

1 テキスト表示にします

「ディスプレイ表示切り替え」(54ページ)を参照して、テキスト表示にします。

2 <ソースキーモード>状態にします

<ソースキーモード>表示の状態で作動します。



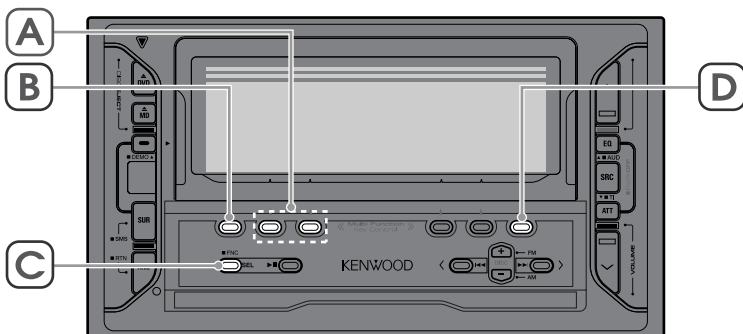
3 スクロール表示します



表示中のテキストが1回スクロールします。

- スクロール可能なテキスト表示については、「Help? Word」の「Scroll」(122ページ)を参照してください。
- スクロール設定を“Auto”にしているときに上記の操作を行うと、テキストが最初の文字からスクロールを開始します。スクロール設定は、「ファンクションセット」(86ページ)の“Scroll”項目で選択できます。

CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード



ダイレクトサーチ(CD/MP3/WMAのみ)

(付属リモコンでの操作)

CDまたはMP3/WMAを再生中に、再生したい場所を直接選ぶことができます。

! MDまたはChangerをプレイ中もダイレクトサーチが行えます。詳しくは「リモートコントロール」(98ページ)を参照してください。

1 モードスイッチを切り替えます

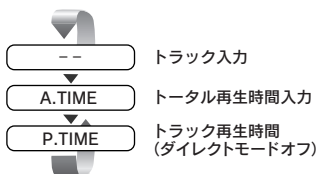
「リモコンモードスイッチの切り替えかた」(92ページ)を参照してDVDモードに設定します。

2 ダイレクト画面に切り替えます

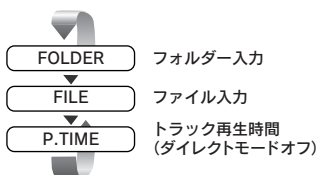


押すたびに次のようにダイレクトモードが替わります。

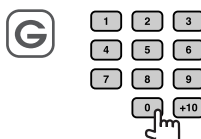
CDの場合



MP3/WMAの場合



3 再生したい場所を入力します



入力例：トラック13の場合

[1]、[3] または [+10]、[3]

：13分45秒の場合

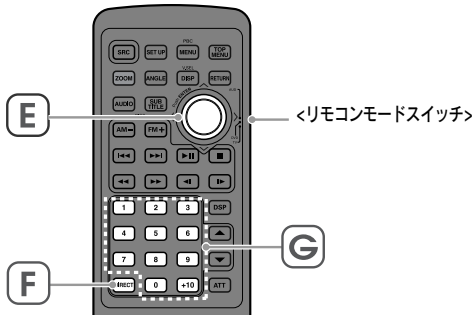
[1]、[3]、[4]、[5]

- ! ●再生時間入力以外のときは、2桁以上を入力する場合、[+10]を押しても入力できません。
- 再生時間入力以外のときは、演奏時間表示中に[E] ●でも再生場所を設定することができます。

4 指定した場所から再生します



- ! 10秒間操作をしないと、ダイレクトモードは自動的に終了します。



グループセレクト (グループ登録済みMDのみ)

聴きたい曲が入っているグループ名を表示してグループを選択します。

1 グループセレクトモードにします



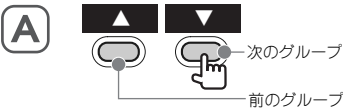
ディスプレイに以下の表示がされて、1グループから表示します。

グループナンバー表示
選択しているグループの番号を表示します。



グループネーム表示
選択しているグループネームを表示します。

2 グループを選びます



押すたびに、次のグループ／前のグループへと移動します。

グループネームをスクロールするときは…



3 聴きたい曲が入っているグループで…

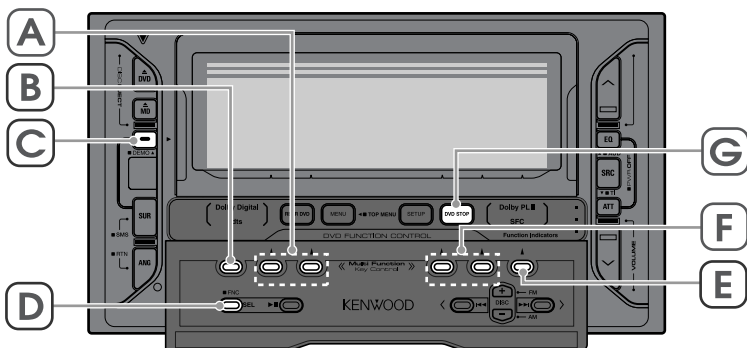


グループセレクトモードが終了し、そのグループ内の最初の曲がプレイされます。

グループセレクトを中止するときは…



CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード



フォルダセレクト (MP3/WMAメディアのみ)

聴きたいMP3/WMA曲が入っているフォルダをすばやく選択します。

1 フォルダセレクトモードにします



ディスプレイに以下の表示がされます。

フォルダナンバー表示
選択しているフォルダの
番号を表示します。

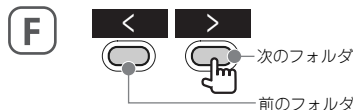


親フォルダ表示
選択しているフォルダが属する
親フォルダの名前を表示します。

フォルダ表示
選択しているフォルダの
名前を表示します。

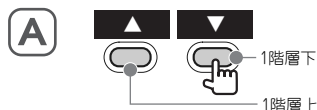
2 フォルダを選びます

同階層内にあるフォルダ間を移動します



押すたびに、同階層内で次のフォルダ／前のフォルダへと移動します。

フォルダの階層を選択します



押すたびに、1階層上/1階層下へと移動します。

第1階層へ戻ります



最上階層のフォルダに戻ります。

フォルダセレクト時のフォルダの移動のしかたは、フォルダサーチとは異なります。くわしくは「Help? MP3/WMA」(104ページ)を参照してください。

3 聴きたい曲が入っているフォルダで…**E****ENTER**

フォルダセレクトモードが終了し、そのフォルダ内の最初のMP3/WMAファイルがプレイされます。



フォルダセレクトモードを終了して、選択したフォルダにMP3/WMAファイルがないときは、プレイ順で一番近いファイルがプレイされます。

フォルダネームをスクロールするときは…**B****SCROL****フォルダセレクトを中止するときは…****D****CD/MP3/WMAストップ**

(CD/MP3/WMAメディアのみ)

現在の位置を記憶してプレイを停止します。


1 DVDオペレーションカバーを開きます

「EZ Operation」(14ページ)を参照してDVDオペレーションカバーを開きます。

2 プレイを停止します**G**

現在の位置を記憶してプレイが停止します。

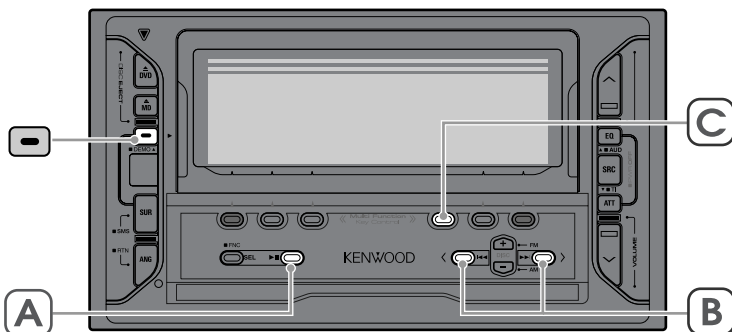


- この状態で  を押すと続きからプレイします。
- ディスクによっては操作できない場合があります。

2 記憶した位置を消去する**G**

もう一度押すと記憶した位置を消去します。次にプレイするときは初めからプレイします。

DVD/VCDプレイ



DVD/VCD映像の情報表示

別売品のTVモニターを接続しているときは、接続しているTVモニターに情報が表示されます。

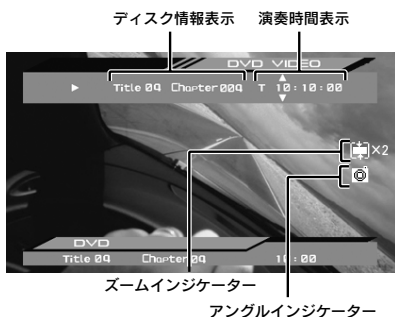
1 モードスイッチを切り替えます

「リモコンモードスイッチの切り替えかた」(92ページ)を参照してDVDモードに設定します。

2 TVモニターに情報を表示します

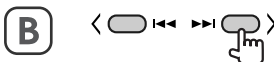


TVモニターに演奏時間や情報が表示されます。詳しくは「リモートコントロール」(102ページ)をご覧ください。



トラック/チャプター/シーンサーチ

プレイする曲/チャプター/シーンを選びます。



ディスク	動作
DVD	チャプターが順に替わります
VCD (PBC ON時)	シーンが順に替わります
VCD (PBC OFF時)	トラックが順に替わります

● PBC (プレイバックコントロール) の切り替えは「リモートコントロール」(96ページ)をご覧ください。

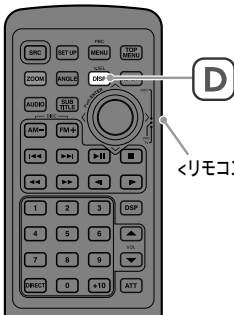
マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲/チャプター/シーンを早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、2倍速で早送り/早戻しされます。

● 早送り/早戻し中は、DVDとVCDの音声は出力されません。



<リモコンモードスイッチ>

DVD/VCDソースでいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なDVD/VCDの聴きかたはEZ Operation (14ページ) をご覧ください。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。はじめに「Help? Multi Key」(107ページ) をご覧ください。

ポーズ

現在プレイ中の曲/チャプター/シーンを一時停止します。



もう一度押すとプレイを再開します。

💡 ディスクによっては動作しない場合があります。

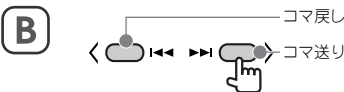
コマ送り/戻し

映像のコマ送り/戻しします。

1 ポーズ状態にします



2 コマ送り/戻しします



押すたびにコマ送り/戻しされます。

3 コマ送り/戻しを解除します



リピートプレイ

現在聴いている曲またはチャプター/タイトルを繰り返してプレイします。

Before CHECK

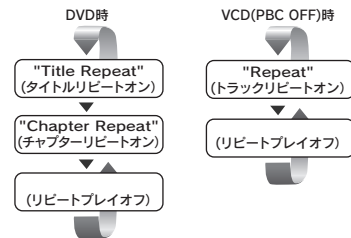
<ソースキーモード>表示の状態で操作します。

AUDIO REP ZOOM
(VCDプレイ時の表示例)

<ソースキーモード>になっていない場合は、 を押します。

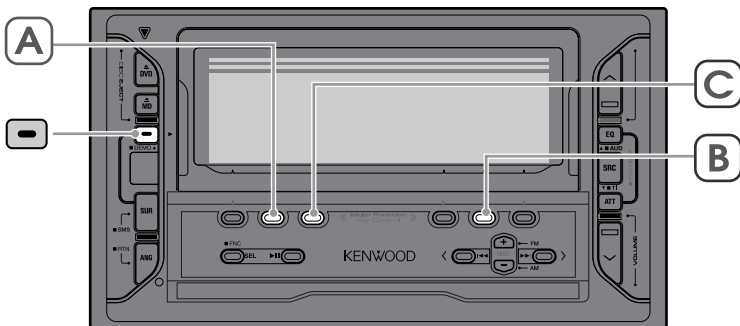


押すたびに、次のようにオン/オフします。
リピートプレイ中は“REP”が反転表示されます。



💡 PBC ONのときはVCDのリピートプレイできません。

DVD/VCDプレイ



● 字幕の言語切り替え(DVDのみ)

字幕が1つまたは複数言語が収録されている場合に、字幕の表示のオン/オフや言語を選択できます。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。

字幕 AUDIO REP ANGLE ZOOM

<ソースキーモード>になっていない場合は、を押します。

A

字幕



字幕の言語が順に替わります。

- ディスクによっては切り替えることができません。この場合は、DVDメニューで切り替えてください。

● 音声言語切り替え(DVDのみ)

複数の音声言語が収録されている場合、音声言語を選択できます。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。

字幕 AUDIO REP ANGLE ZOOM

<ソースキーモード>になっていない場合は、を押します。

C

AUDIO



音声言語が順に替わります。

- ディスクによっては切り替えることができません。この場合は、DVDメニューで切り替えてください。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key」(107ページ)をご覧ください。


音声出力チャンネル切り替え (VCDのみ)

音声を出力するチャンネルを選択します。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で作作します。

AUDIO REP ZOOM

<ソースキーモード>になっていない場合は、を押します。



押すたびに接続しているテレビモニターに次のように表示されます。

“ST” : ステレオ音声

“LL” : 左チャンネルのみを使用

“RR” : 右チャンネルのみを使用


映像アングルの切り替え (DVDのみ)

映像アングル(角度)が複数収録されている場合、アングルを選択できます。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で作作します。

字幕 AUDIO REP ANGLE ZOOM

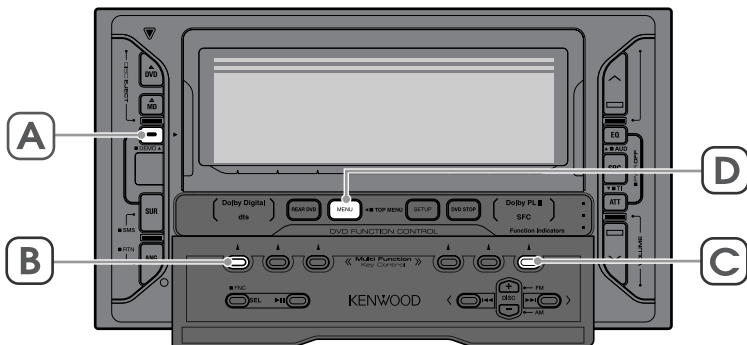
<ソースキーモード>になっていない場合は、を押します。



アングルが順に替わります。

- ディスクによっては切り替えることができません。
この場合は、DVDメニューで切り替えてください。

DVD/VCDプレイ



● ボリュームラベルスクロール

ディスプレイに表示されるボリュームラベルを、スクロール設定が“Manual”のときにスクロールさせます。

1 テキスト表示にします

「ディスプレイ表示切り替え」(54ページ)を参照して、ボリュームラベル表示にします。

2 <ソースキーモード>状態にします

<ソースキーモード>表示の状態で作動します。

SCROLL SCAN RDM REP



3 スクロール表示します



表示中のテキストが1回スクロールします。

- スクロール可能なテキスト表示については、「Help? Word」の「Scroll」(122ページ)を参照してください。
- スクロール設定を“Auto”にしているときに上記の操作を行うと、テキストが最初の文字からスクロールを開始します。スクロール設定の方法は、「ファンクションセット」(86ページ)を参照してください。

● 画面の拡大表示

(付属リモコンでの操作)

1 モードスイッチを切り替えます

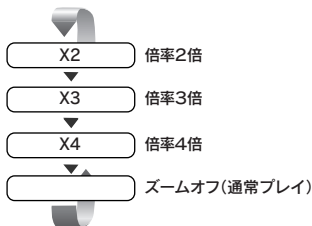
「リモコンモードスイッチの切り替えかた」(92ページ)を参照してDVDモードに設定します。

2 ズーム倍率を替える

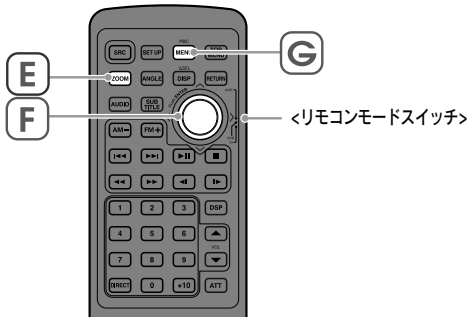


押すたびに次のように切り替わります。ズーム中はTVモニター上にズームインジケータが点灯します。

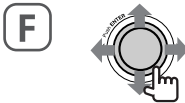
<モニター画面表示>



- 本機の「C」ZOOMでもズーム倍率を替えることができます。



3 表示位置を動かす



表示位置を動かします。

- ズーム倍率をオフに設定すると表示位置を動かすことはできません。
- TVモニターに情報表示が表示されている場合は、表示位置を動かすことはできません。

DVDのメニューを使う(DVDのみ)

(付属リモコンでの操作)

DVDディスクメニューを使用できます。

1 モードスイッチを切り替えます

「リモコンモードスイッチの切り替えかた」(92ページ)を参照してDVDモードに設定します。

2 メニュー (DVDメニュー) を表示します



接続されているTVモニターにDVDメニューが表示されます。

- 本機にDVDメニュー画面を表示することはできません。
- 本機の **[D]** **[MENU]** でもメニューを表示することができます。この場合、「EZ Operation」(14ページ)を参照してDVDオペレーションカバーを開けてください。

3 アイテムを選択します



上下左右に動かしてカーソルをアイテムに合わせて選択します。

- ディスクメニュー操作についてはDVDの取扱説明書をご覧ください。
- TVモニターに情報表示が表示されている場合は、アイテムを選択することはできません。

4 決定します

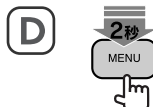


メニューを解除するには…

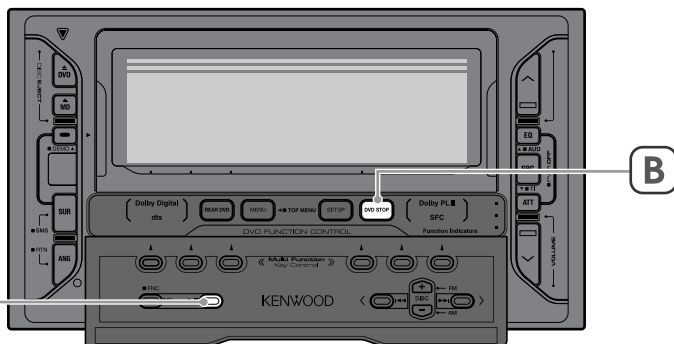


- 本機の **[D]** **[MENU]** でもメニューを解除することができます。この場合、「EZ Operation」(14ページ)を参照してDVDオペレーションカバーを開けてください。

トップメニューを表示するには…



DVD/VCDプレイ



ダイレクトサーチ

(付属リモコンでの操作)
再生したい場所を直接選ぶことができます。

1 モードスイッチを切り替えます

「リモコンモードスイッチの切り替えかた」
(92ページ)を参照してDVDモードに設定し
ます。

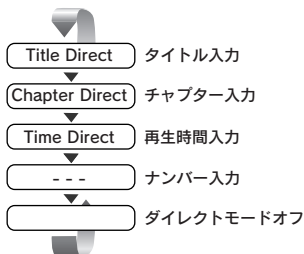
2 ダイレクト画面に切り替えます



押すたびに次のようにダイレクトモードが替
わります。

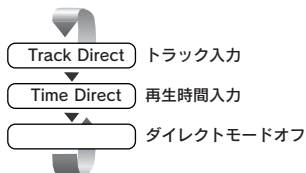
<モニター画面表示>

DVDの場合

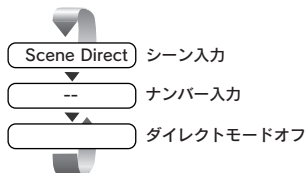


<モニター画面表示>

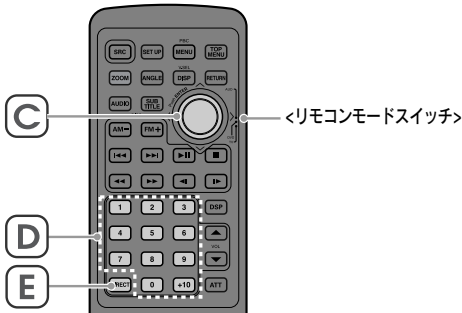
ビデオCD[PBC OFF]



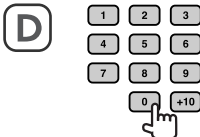
ビデオCD[PBC ON]の場合



- 再生時間入力以外のときは、演奏時間表示中に
C 〇でも再生場所を設定することができます。
- DVDの場合、メニュー中はタイトルダイレクト及
びナンバーダイレクト、停止中はタイトルダイ
レクトのみ選択できます。



3 再生したい場所を入力します



入力例：チャプター13の場合

[1]、[3] または [+10]、[3]

：1時間23分45秒の場合

[0]、[1]、[2]、[3]、[4]、[5]

再生時間入力以外のときは、2桁以上を入力する場合、[+10] を押しても入力できます。

4 指定した場所から再生します



10秒間操作をしないと、ダイレクトモードは自動的に終了します。

DVD/VCDストップ

現在の位置を記憶してプレイを停止します。

1 DVDオペレーションカバーを開きます

「EZ Operation」(14ページ)を参照してDVDオペレーションカバーを開きます。

2 プレイを停止します



現在の位置を記憶してプレイが停止します。

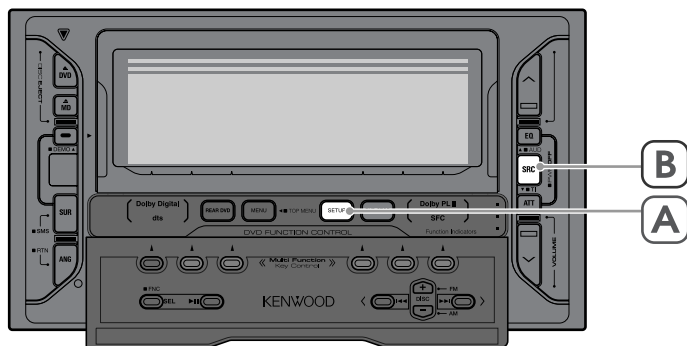
- この状態で [A] ▶II を押すと続きからプレイします。
- ディスクによっては操作できない場合があります。

2 記憶した位置を消去する



もう一度押すと記憶した位置を消去します。次にプレイするときは初めからプレイします。

セットアップ



セットアップ

(付属リモコンでの操作)

好みに合わせて本機の設定を変更します。

1 DVDソースにします

B



DVD

2 モードスイッチを切り替えます

「リモコンモードスイッチの切り替えかた」(92ページ)を参照してDVDモードに設定します。

3 セットアップメニューを表示します

C



<モニター画面表示>

- 本機の **A** **SETUP** でもセットアップを表示することができます。この場合、「EZ Operation」(14ページ)を参照してDVDオペレーションカバーを開けてください。
- “DVD設定”はDVDプレイ中は設定できません。
- “CD設定”はディスクがイジェクトされているときにのみ設定ができます。

4 設定したい項目を選択します

D



上下に動かしてカーソルを設定したい項目に合わせて選択します。

詳しい設定項目は各操作説明をご覧ください。

- ディスプレイ：35ページ

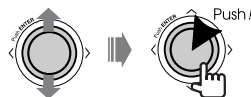
- オーディオ：36ページ

- CD設定：37ページ

- DVD設定：38ページ

5 “終了”を選択して終了します

D



上下に動かしてカーソルを“終了”に合わせて選択します。

設定を登録して終了します。

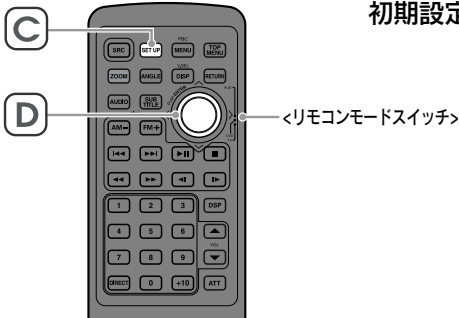
途中でやめるには…

C



- “DVD設定”でDVD設定メニューを設定中にDVDディスクがプレイされたときはセットアップメニュー画面に戻ります。
- 本機の **A** **SETUP** でも途中でセットアップを終了できます。この場合、「EZ Operation」(14ページ)を参照してDVDオペレーションカバーを開けてください。

初期設定をします。



ディスプレイメニュー

(付属リモコンでの操作)

ディスプレイの設定を選択します。

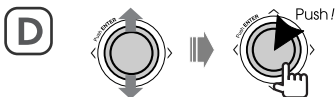
1 ディスプレイメニューを表示させます

「セットアップ」(34ページ)を参照して「ディスプレイ」を選択します。



<モニター画面表示>

2 設定したい項目を選択します



上下に動かしてカーソルを設定したい項目に合わせて選択します。

- 各項目の切り替えかたは手順3をご覧ください。
- “壁紙タイプ”はCD/MP3/WMA/DVD/VCDを再生中は設定できません。

ステータス情報 (ステータス情報)

画面左右のステータスおよびアイコン表示を設定します。

壁紙タイプ (壁紙タイプ)

オーディオCDやMP3/WMA再生時など映像出力がない時の背景画像を設定します。

オーディオ情報 (オーディオ情報)

出力音声の情報表示を設定します。

3 設定を切り替えます



左右に動かしてカーソルを設定したい表示に合わせて選択します。

ステータス情報

表示	設定
ON	ステータス及びアイコンを表示する
OFF	ステータス及びアイコンを表示しない

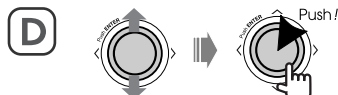
壁紙タイプ

表示	設定
タイプ1	
タイプ2	

オーディオ情報

表示	設定
ON	文字情報を表示する
OFF	文字情報を表示しない

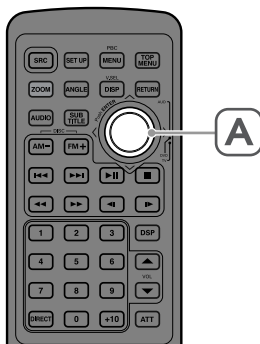
4 “OK” を選択して終了します



上下に動かしてカーソルを“OK”に合わせて選択します。

セットアップメニューに戻ります。

セットアップ



オーディオ設定メニュー

オーディオ設定メニューで、再生のダイナミックレンジを設定します。

！ 「ダイナミックレンジ設定」(71ページ)でも設定が行えます。

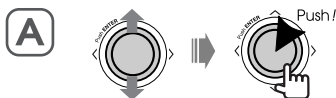
1 オーディオ設定メニューを表示させます

「セットアップ」(34ページ)を参照して“オーディオ”を選択します。



<モニター画面表示>

2 “DRC” を選択します



上下に動かしてカーソルを“DRC”に合わせて選択します。

DRC

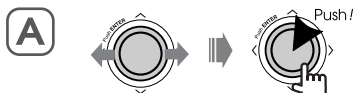
(DRC)

再生のダイナミックレンジを設定します。ドルビーデジタル対応のソフトを使用しているときに効果が現れます。

(Dynamic Range Control)

！ 項目の切り替えかたは手順3をご覧ください。

3 設定を切り替えます

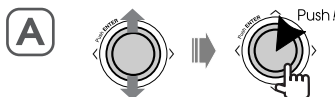


左右に動かしてカーソルを設定したい表示に合わせて選択します。

表示	設定
Wide	ダイナミックレンジが広い
Normal	ダイナミックレンジが普通
Narrow	ダイナミックレンジが狭い

！ ダイナミックレンジを狭くすると、小さな音が聴きやすくなります。

4 “OK” を選択して終了します



上下に動かしてカーソルを“OK”に合わせて選択します。
セットアップメニューに戻ります。

CD設定メニュー

(付属リモコンでの操作)

CD読み取りモードの設定をします。

「ファンクションセット」(86ページ)の“CD読み取りモード”項目でも設定が行えます。

1 CDプレーヤー設定メニューを表示させます

「セットアップ」(34ページ)を参照して“CD設定”を選択します。



<モニター画面表示>

2 “CD Read” を選択します

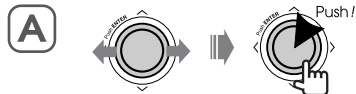


上下に動かしてカーソルを“CD Read”に合わせて選択します。

CD Read (CD Read)
CD読み取りモードを設定します。

- 詳しい機能説明は「Help? Word」の“CD読み取りモード”(122ページ)を参照してください。
- 項目の切り替えかたは手順3をご覧ください。

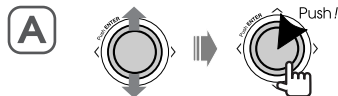
3 設定を切り替えます



左右に動かしてカーソルを設定したい表示に合わせて選択します。

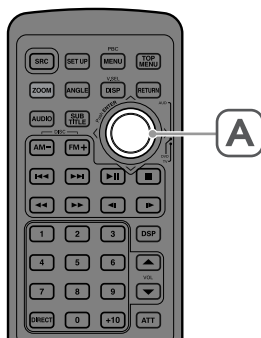
表示	設定
1	VCD/MP3/WMA/CDプレイ時にVCD/MP3/WMAディスクと音楽CDを自動認識して再生します。
2	音楽CDとして強制的にプレイします。

4 “OK” を選択して終了します



上下に動かしてカーソルを“OK”に合わせて選択します。
セットアップメニューに戻ります。

セットアップ



DVD設定メニュー

(付属リモコンでの操作)

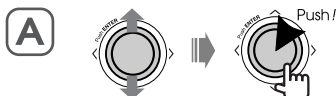
1 DVDプレーヤーメニューを表示させます

「セットアップ」(34ページ)を参照して“DVD設定”を選択します。



<モニター画面表示>

2 設定したい項目を選択します



上下に動かしてカーソルを設定したい項目に合わせて選択します。

詳しい設定項目は各操作説明をご覧ください。

- 言語設定：38ページ

- パレンタル：40ページ

- TVタイプ：42ページ

❗ “戻る”を選ぶと設定を登録して終了します。セットアップメニューに戻ります。

言語設定メニュー

(付属リモコンでの操作)

優先する言語を選択します。

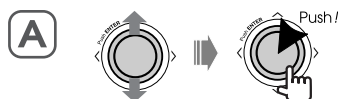
1 言語メニューを表示させます

前記の「DVD設定メニュー」を参照して“言語設定”を選択します。



<モニター画面表示>

2 設定したい項目を選択します



上下に動かしてカーソルを設定したい項目に合わせて選択します。

音声言語 (音声言語)

音声言語を設定します。

字幕言語 (字幕言語)

字幕言語を設定します。

メニュー言語 (メニュー言語)

メニュー言語を設定します。

❗ 各項目の切り替えかたは手順3をご覧ください。

3 言語を設定します



<音声言語メニュー中のモニター画面表示>



上下左右に動かしてカーソルを設定したい音声言語に合わせて選択します。
「Help? DVD Cord」(118ページ)を参照して2桁の言語コードを入力します。

標準 (標準) : ディスクの標準言語に設定します。

● “標準” は音声言語を設定するときのみ設定できます。

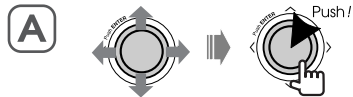
4 “OK” を選択して言語を決定します



上下左右に動かしてカーソルを設定 “OK” に合わせて選択します。

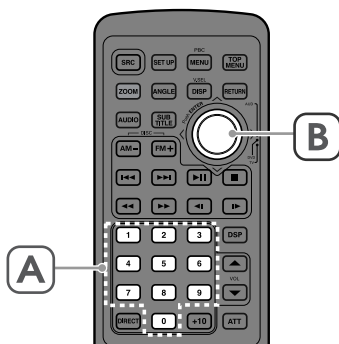
● “戻る” を選ぶと設定せずに前の画面に戻ります。

文字を消去するときは…



上下左右に動かしてカーソルを“消去”に合わせて選択します。

セットアップ



● パレンタル設定(付属リモコンでの操作)

パレンタル設定用の暗証番号を登録します。

1 パレンタルを表示させます

「DVD設定メニュー」(38ページ)を参照して“パレンタル”を選択します。



<モニター画面表示>

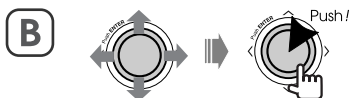
2 暗証番号を入力します



4桁の暗証番号を入力します。

最初にパレンタルを設定する場合は、暗証番号登録になります。任意の4桁の番号を入力すると、暗証番号として登録されます。

3 “OK”を選択して暗証番号を決定します



上下左右に動かしてカーソルを設定“OK”に合わせて選択します。
パレンタル変更画面に移ります。

“戻る”を選ぶと設定せずに前の画面に戻ります。

● パレンタル変更(付属リモコンでの操作)

1 パレンタル変更を表示させます

前記の「パレンタル設定」を参照して暗証番号を入力します。



<モニター画面表示>

2 設定したい項目を選択します



上下に動かしてカーソルを設定したい項目に合わせて選択します。

レベル (レベル)

パレンタル(視聴規制)のレベルを設定します。

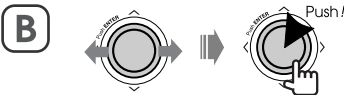
暗証番号 (暗証番号)

暗証番号の変更をします。

各項目の切り替えかたは手順3をご覧ください。

3 設定を切り替えます

レベルを切り替えます



表示	設定
OFF	パレンタル (視聴規制) を解除します
1~8	数字が小さくなるほど視聴制限が厳しくなります

パレンタル暗証番号を変更します



<モニター画面表示>

1. 新しい暗証番号を入力します



2. “OK” を選択して暗証番号を決定します



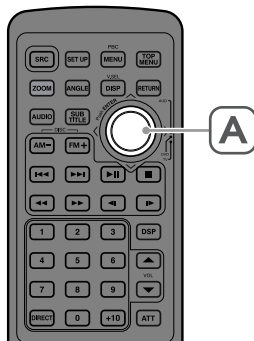
4 “戻る” を選択してパレンタル変更を終了します



上下左右に動かしてカーソルを設定“戻る”に合わせて選択します。
DVDプレーヤーメニュー画面に戻ります。

- プレイするディスクによってはパレンタル (視聴規制) のレベルを超える場所を再生した時に暗証番号の確認画面が表示されます。暗証番号を入力しないと、全く再生されない場合や、一部の場面をとばしたり差し替えたりして再生します。
- 規制レベルはディスクにより異なります。
- 視聴規制のないディスクではパレンタル (視聴規制) を設定しても、再生は制限されません。

セットアップ



TVタイプ設定

(付属リモコンでの操作)
接続するモニターに合わせてTVタイプを設定します。

1 “TVタイプ” を選びます

「DVD設定メニュー」(38ページ)を参照して“TVタイプ”を選択します。

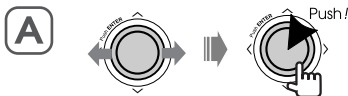


<モニター画面表示>




2 “モード” を設定します



3 表示を切り替えます



左右に動かしてカーソルを設定したい表示に合わせて選択します。

表示	設定
ワイド	ワイド版の映像を再生する 
パン&スキャン	パン&スキャン方式(左右の切れている映像)でワイド版の映像を再生する 
レターボックス	レターボックス方式(上下に黒い帯がある映像)でワイド版の映像を再生する 

TVタイプの設定は、ディスクにより異なることがあります。

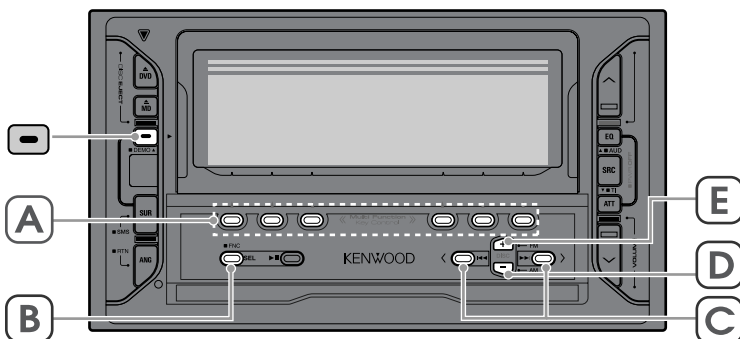
4 “OK” を選択してTVタイプ設定を終了します



上下に動かしてカーソルを設定“OK”に合わせて選択します。

DVDプレーヤーメニュー画面に戻ります。

TUNER モード



バンド切り替え

FM1とFM2に切り替えます。



AM1とAM2に切り替えます。



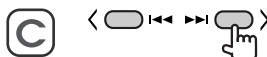
チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



チューニングモードが“Auto 1”のとき
(AT1インジケーターが点灯しています)
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

チューニングモードが“Auto 2”のとき
(AT2インジケーターが点灯しています)
メモリーされている放送局を番号順に受信します。
(メモリーの方法は右記を参照してください)

チューニングモードが“Manual”のとき
押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

- チューニングモードは「ファンクションセット」(86ページ)の“SEEKモード”項目で選択できます。
- FMステレオ放送を受信するとSTインジケーターが点灯します。

FM/AM放送を受信します。

また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴きかたはEZ Operation（14ページ）をご覧ください。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key」（107ページ）をご覧ください。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で作動します。



<ソースキーモード>になっていない場合は、 を押します。

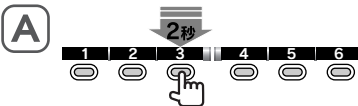
1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



3 メモリーするボタン（1～6のいずれか）を選びます



82.5MHz 1ch

ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

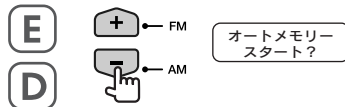
前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 ファンクションセットモードにします

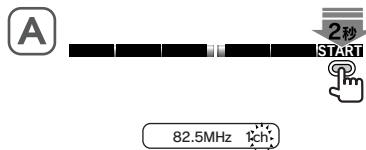


“FUNCTION SET” と表示されるまで押し続けます。

3 オートメモリー項目を選択します



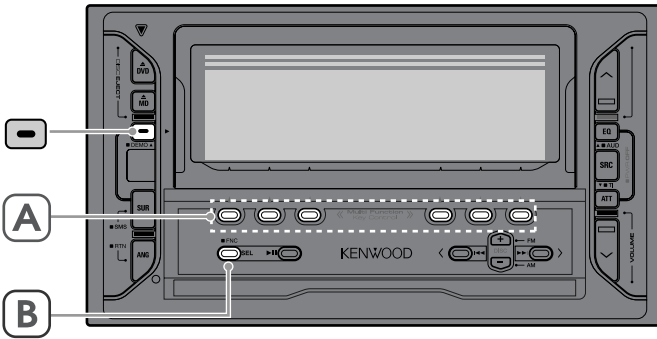
4 オートメモリーを開始します



2秒以上押し続けます。

- 6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

TUNER モード



● プリセットチューニング

メモリーボタン（１～６）にメモリーされている放送局を受信します。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。

1 2 3 4 5 6

<ソースキーモード>になっていない場合は、**C**を押します。

1 バンドを選びます

「バンド切り替え」（４４ページ）を参照してバンドを選びます。

2 メモリーボタン（１～６のいずれか）を選びます



82.5MHz 1ch

押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

● チューナーリストチューニング

放送局名をリスト表示して、メモリーボタン（１～６）にメモリーされている放送局を受信します。

1 チューナーリストモードにします



ディスプレイに以下の表示がされます。

プリセットナンバー表示



バンド表示

中止するときは...



2 バンドを選びます

「バンド切り替え」（４４ページ）を参照してバンドを選びます。

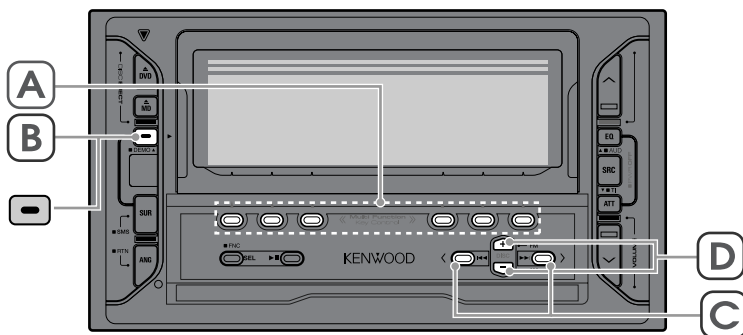
3 メモリーボタン（１～６のいずれか）を選びます



チューナーリストモードが終了して選択した放送局が呼び出されます。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key」(107ページ)をご覧ください。

Name Set



DNPS (ディスクネームプリセット) / SNPS (ステーションネームプリセット) CDやFM/AM放送局に名前を付けます。

Before CHECK

<ディスプレイキーモード>表示の状態です。

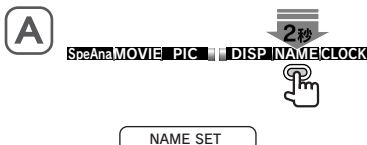
SpeAna | MOVIE | PIC | DISP | NAME | CLOCK

<ディスプレイキーモード>になっていない場合は、を押します。

1 名前を付けるCD/放送局を選びます

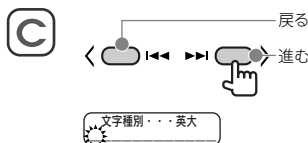
- MDやDVD/VCD/MP3/WMAのメディアにDNPSを行うことはできません。
- マガジンランダムプレイ中はDNPSは行えません。マガジンランダムプレイ以外を選択しておいてください。
- 交通情報モード中に受信している放送局にも同様の操作で名前を付けることができます。

2 DNPS/SNPSを開始します



“NAME SET”画面に替わるまで押し続けます。

3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



4 文字の種類を選びます



入力する文字種のボタンを押します。

漢字 : 漢字 (漢字を選択します)

A-Z : 英大 (英大文字を選択します)

a-z : 英小 (英小文字を選択します)

カナ : カナ (カタカナを選択します)

かな : かな (ひらがなを選択します)

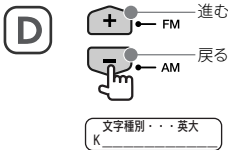
1-0 : 数記 (数字/記号を選択します)

- 漢字の入力方法については、「漢字の入力」(50ページ)をご覧ください。

FM/AM放送局や本機内蔵のプレーヤーと別売品のCDチェンジャーにセットされているCDに名前を付けて表示させることができます。
また、AUXモードのときに表示される名前を設定できます。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key」(107ページ)をご覧ください。

5 文字を選びます



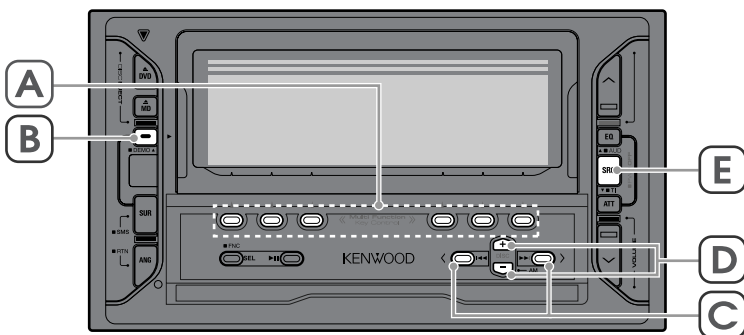
6 3～5を繰り返して、すべての文字を入力します

7 DNPS/SNPSを終了します



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点で名前が確定されます。
- 名前は12文字まで登録できます。
- CDはトラック数(曲数)と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- 登録した名前を変更するには、変更したいCDや放送局の名前を表示させたあと、同様の操作で変更できます。
- SNPSで登録できる局数は、FM放送局とAM放送局の合計で30局です。
- DNPSは本機内蔵プレーヤーおよび接続している別売品CDチェンジャーの合計で50枚まで登録できます。
- バッテリーから本機を外すとDNPS/SNPSは消去されます。

Name Set



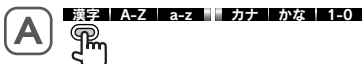
漢字の入力

ディスクネーム/ステーションネームに漢字を入力して表示させることができます。

1 DNPS/SNPSを開始します

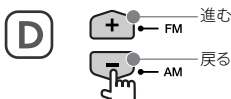
「DNPS (ディスクネームプリセット) /SNPS (ステーションネームプリセット)」(48ページ)の手順1～3を行います。

2 漢字入力モードにします



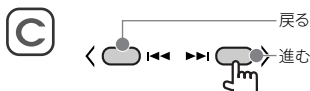
文字種別・・・漢字
いいね 重確短明哀變換始進英

3 漢字の読みを選択します



文字種別・・・漢字
いいね 伊位依偉曲典委感尉

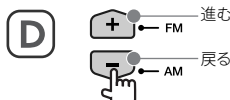
4 入力する漢字を選びます



文字種別・・・漢字
いいね 伊位依偉曲典委感尉

カーソルが読みの位置から漢字の位置に移動します。

漢字列を変えるには....



文字種別・・・漢字
いいね 重確短明哀變換始進英

カーソルが漢字の位置にあるときに動かすと、漢字列が変わります。

5 漢字を入力します



カーソルがある位置の漢字が入力され、漢字入力モードが終了します。

さらに漢字を入力する場合は、手順2～5を繰り返します。

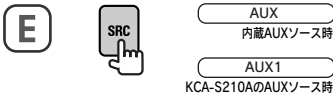
漢字入力を中止するときは...



AUXネームセレクト

AUXに切り替えたときの表示を設定します。

1 AUXソースにします



2 AUXネームセレクトを開始します



“NAME SET”画面に替わるまで押し続けます。

3 AUXネームを選択します



表示したい名前のボタンを押します。

AUX : AUX (エーユーエックス)

DVD : DVD (ディーバイディー)

PRTBL : PORTABLE (ポータブル)

GAME : GAME (ゲーム)

VIDEO : VIDEO (ビデオ)

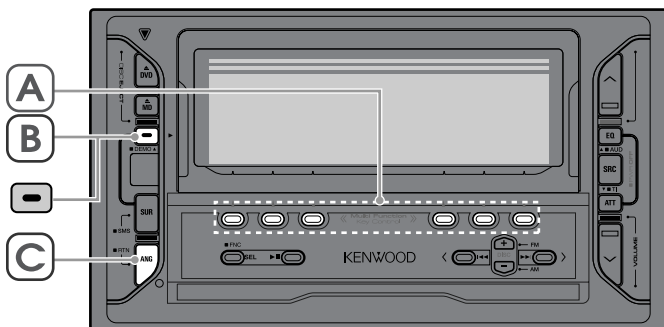
TV : TV (テレビ)

4 AUXネームセレクトを終了します



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。
- CA-C1AXを使用したAUX入力には「AUXネームセレクト」はできません。
- バッテリーから本機をはずすと、AUXネームは“AUX”に戻ります。

ディスプレイコントロール



時計表示切り替え

時計表示をオン/オフします。

Before CHECK

<ディスプレイモード>表示の状態で操作します。

SpeAna|MOVIE|PIC|DISP|NAME|CLOCK

<ディスプレイモード>になっていない場合は、を押します。

A

SpeAna|MOVIE|PIC|DISP|NAME|CLOCK



AM12:49

押すたびに、時計表示がオン/オフされます。

時刻合わせ

時計表示の時刻を合わせます。

Before CHECK

<ディスプレイモード>表示の状態で操作します。

SpeAna|MOVIE|PIC|DISP|NAME|CLOCK

<ディスプレイモード>になっていない場合は、を押します。

1 時刻合わせを開始します

A

SpeAna|MOVIE|PIC|DISP|NAME|CLOCK

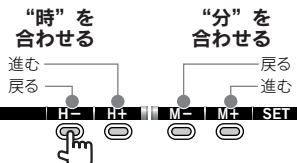


AM12:49

“CLOCK ADJUST” 画面に替わるまで押し続けます。

2 時刻を合わせます

A



3 時刻合わせを終了します

A

H- H+ M- M+ SET



00秒からカウントがスタートします。

ディスプレイに表示する情報の設定をします。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key」(107ページ)をご覧ください。

● 操作パネル角度調節

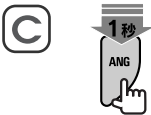
操作パネルを見やすい角度に調整します。

パネルをスライドします。



押すたびに、操作パネルが1ステップずつ10段階にスライドします。

パネルを元の位置に戻します。

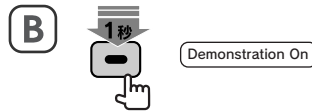


パネルが動き始めるまで押し続けます。

- 電源をオフにするとパネルは数秒後に元の状態に戻ります。再び電源をオンにすると、調節した角度になります。
- パネルスライド中は音は出力されません。

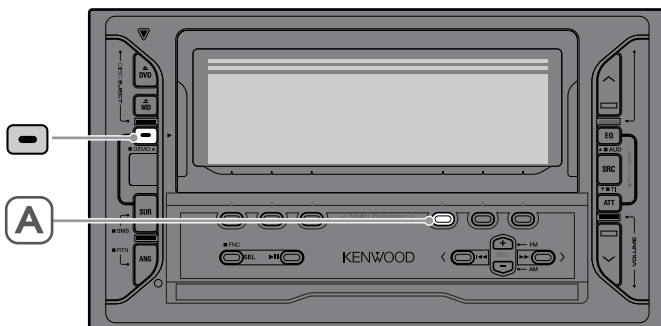
● デモンストレーション切り替え

デモンストレーション表示にします。



“Demonstration On”と表示されるまで押し続けます。
1秒以上押すたびに、デモンストレーションがオン/オフします。

ディスプレイコントロール



ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示する情報を切り替えます。

Before CHECK

<ディスプレイキーモード>表示の状態で操作します。

SpeAna | MOVIE | PIC | DISP | NAME | CLOCK

<ディスプレイキーモード>になっていない場合は、**[DISP]**を押します。

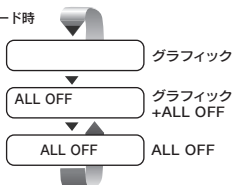
A

DISP

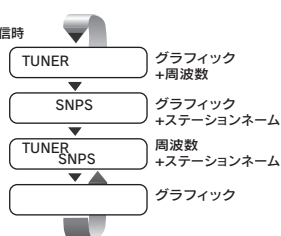


押すたびに次の順に切り替わります。

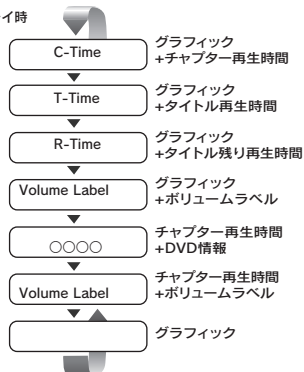
ALL OFFモード時



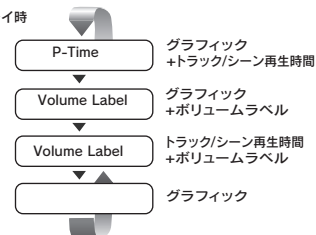
TUNER/
交通情報受信時



DVDプレイ時

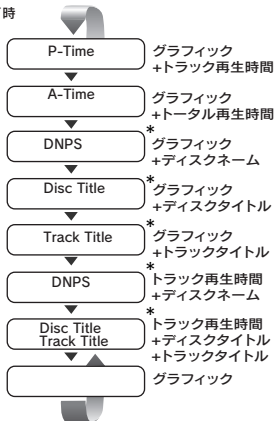
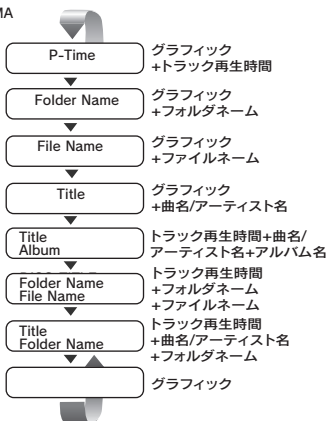


VCDプレイ時



Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key」(107ページ)をご覧ください。

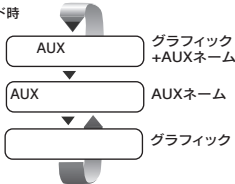
CDプレイ時

MP3/WMA
プレイ時

MDプレイ時

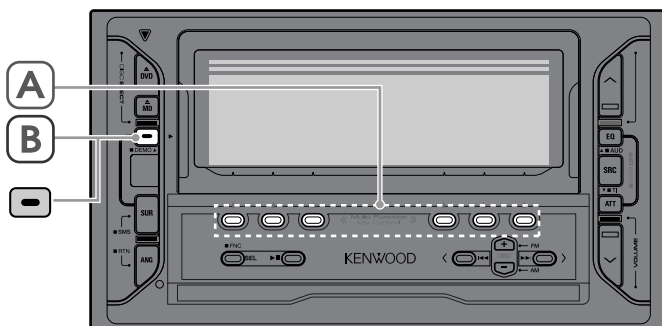


AUXモード時



- グラフィックの切り替えかたは、「スベアナ切り替え」(56ページ)、「壁紙の選択」(57ページ)、「動画の選択」(58ページ)をご覧ください。
- CDプレイ時の*の項目は本機内蔵CDとタイトル機能に対応した別売品のユニットでプレイ時のみ選択可能です。
- MDプレイ時の*の項目はグループ登録済みMDをプレイ時のみ選択可能です。
- CA-C1AXに入力したAUXソースでは“AUX Mode”表示とグラフィック表示とが切り替わります。
- WMAファイルをプレイ中は、アルバム名の表示はできません。

ディスプレイコントロール




スเปアナ切り替え

グラフィックに表示するスペクトラムアナライザ表示を選択します。

Before CHECK

<ディスプレイキーモード>表示の状態で操作します。

SpeAna | **MOVIE** | **PIC** | **DISP** | **NAME** | **CLOCK**

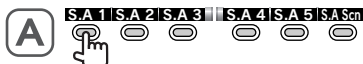
<ディスプレイキーモード>になっていない場合は、を押します。

1 スペアナ選択モードにします



● ALL OFF中および交通情報受信中は切り替えできません。

2 スペアナを切り替えます



表示したい項目のボタンを押します。

S.A. 1 : Speana 1 (スぺアナ 1)

S.A. 2 : Speana 2 (スぺアナ 2)

S.A. 3 : Speana 3 (スぺアナ 3)

S.A. 4 : Speana 4 (スぺアナ 4)

S.A. 5 : Speana 5 (スぺアナ 5)

S.A. Scn : Speana Scan (スぺアナスキャン)

● スペアナスキャンに切り替えると"Speana 1"から"Speana 5"までを次々に表示します。

3 スペアナ選択モードを終了します



Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key」(107ページ)をご覧ください。


壁紙の選択

グラフィックに表示する壁紙を選択します。

Before CHECK

<ディスプレイキーモード>表示の状態で操作します。

SpeAna MOVIE PIC DISP NAME CLOCK

<ディスプレイキーモード>になっていない場合は、を押します。

1 壁紙選択モードにします

A

SpeAna MOVIE PIC DISP NAME CLOCK



交通情報受信中は切り替えできません。

2 壁紙を切り替えます

A

PIC 1 PIC 2 PIC 3 PIC 4 PIC 5 PIC Scn



表示したい項目のボタンを押します。

PIC 1 : Pic 1 (壁紙 1)

PIC 2 : Pic 2 (壁紙 2)

PIC 3 : Pic 3 (壁紙 3)

PIC 4 : Pic 4 (壁紙 4)

PIC 5 : Pic 5 (壁紙 5)

PIC Scn : Pic Scan (壁紙スキャン)



壁紙スキャンに切り替えると"Pic 1"から"Pic 5"までを次々に表示します。

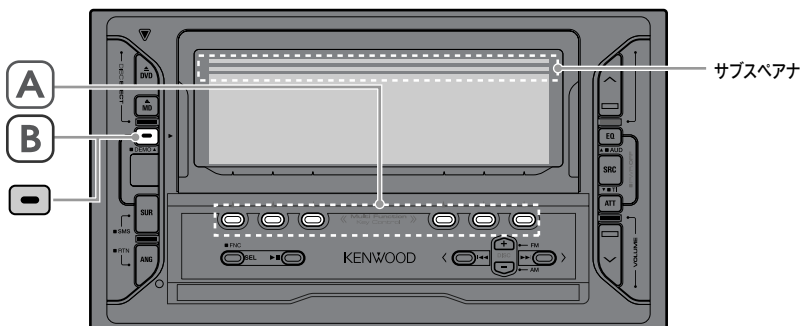
3 壁紙選択モードを終了します

B



RTN

ディスプレイコントロール



動画の選択

グラフィックに表示する動画を選択します。

Before CHECK

<ディスプレイキーモード>表示の状態で作ります。

SpeAna|MOVIE|PIC|DISP|NAME|CLOCK

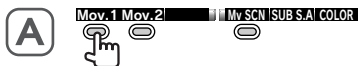
<ディスプレイキーモード>になっていない場合は、を押します。

1 動画選択モードにします



● 交通情報受信中は切り替えできません。

2 動画を切り替えます



表示したい項目のボタンを押します。

Mov.1 : Movie 1 (動画 1)

Mov.2 : Movie 2 (動画 2)

Mv SCN : Movie Scan (動画スキャン)

● 動画スキャンに切り替えると"Movie 1"と"Movie 2"を次々に表示します。

3 動画選択モードを終了します



Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key」（107ページ）をご覧ください。


サブスピーアナ表示の選択

表示上部のサブスピーアナを選択します。また、バリエアブルカラーの色を選択します。

Before CHECK

<ディスプレイモード>表示の状態で操作します。

SpeAna MOVIE PIC DISP NAME CLOCK

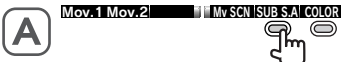
<ディスプレイモード>になっていない場合は、を押します。

1 動画選択モードにします

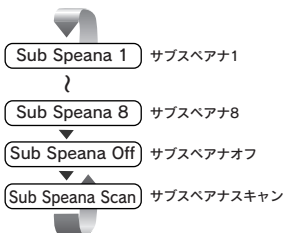


！ 交通情報受信中は切り替えできません。

2 サブスピーアナを切り替えます



押すたびに以下のように切り替わります。



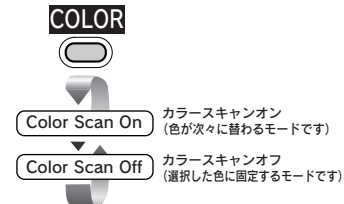
！ サブスピーアナスキャンに切り替えると"Sub Speana 1"から"Sub Speana Off"を次々に表示します。

サブスピーアナの色を好きな色に替えるには…

1. サブスピーアナを選択する

手順 2 を参照して"Sub Speana 1"から"Sub Speana 5"の中からサブスピーアナを選択します。

2. スキャンしてサブスピーアナを選択する

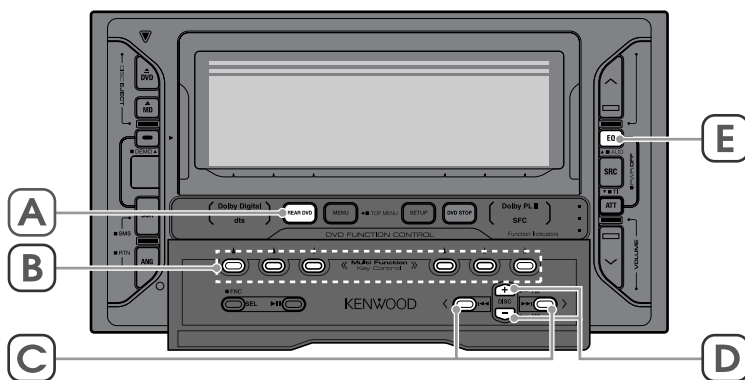


！ サブスピーアナの“Sub Speana 6”から“Sub Speana Off”は表示に合わせて色が替わるため色を固定できません。

3 動画選択モードを終了します



オーディオコントロール



オーディオコントロール

音量バランスなどを設定します。

1 オーディオコントロールモードにします



“AUDIO CONTROL”と表示されるまで押し続けます。

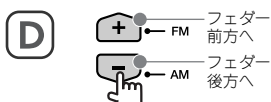
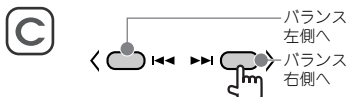
オーディオコントロールはALL OFFモード以外のモード中に設定できます。

2 設定する項目を選択します

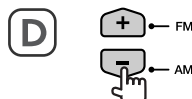


3 設定値を選択します

BALFAD (バランス/フェダー)を調整中



その他の項目を調整中



設定できる項目と値は次のとおりです。

項目	表示	設定値
BALFAD	Balance (左右の音量調整)	L15 ~ 00 ~ R15
	Fader (前後の音量調整)	F15 ~ 00 ~ R15
Amp-B	AMP Bass* (外部アンプの バス調整)	Flat/+6/+12/+18
Amp Freq	AMP Freq* (外部アンプの 周波数調整)	Normal/Low
SW-LV	Sub Level (サブウーファースの 音量差調整)	--- ~ 00 ~ +10
NAV-Vol	NAV. Volume* (ナビ割り込み 音声の音量調整)	10 ~ 15 ~ 25
OFFSET	Volume Offset* (音量レベル差調整)	-15 ~ 00
AUX-Vol	AUX Volume* (AUXの音量調整)	+00 ~ +15

(太字は初期設定値)

音量バランスを調整します。
また、ゾーンコントロールで音声を出力するチャンネルを選択します。

4 オーディオ調整モードを終了します



- *マークが付いた項目の詳しい機能説明は「Help? Word」(121ページ)を参照してください。
- 左記の操作方法以外に“AMP Bass”と“AMP Freq”の設定値は **Ampl-B** または **Ampl-F** で選択ができます。
- “AMP Bass”と“AMP Freq”で本機からコントロール可能なアンプの機種についてはカタログをご覧ください。
- “Sub Level”は「ゾーンコントロール」(61ページ)がオン中は設定できません。
- “NAV. Volume”は「ファンクションセット」(86ページ)の“ナビガイド”項目が“INT”のときに調整できます。
- “AUX Volume”はソースモードが内蔵AUXのときに調整できます。
- 内蔵AUX以外のモードの時は“Volume Offset”が調整できます。

ゾーンコントロール

フロントチャンネルとリアチャンネルとで異なるソース音声出力します。

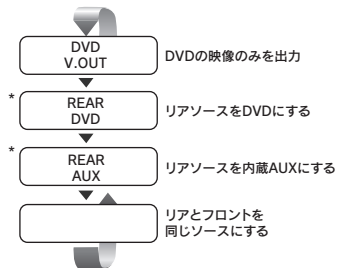
1 DVDオペレーションカバーを開きます

「EZ Operation」(14ページ)を参照してDVDオペレーションカバーを開きます。

2 リアチャンネルに出力するソースを選択します

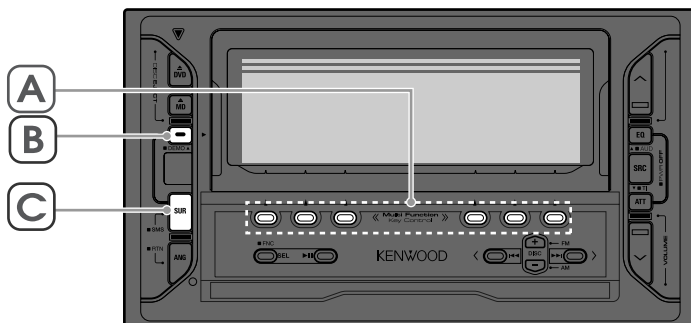


押すたびに次のように替わります。



- AUXソース(“AUX”)には「ファンクションセット」(86ページ)の“AUX”項目が“On”に設定されているときに切り替わります。
- リアチャンネルの音量は「オーディオコントロール」(60ページ)の“Fader”項目で調節できます。
- ゾーンコントロールをオン中はサラウンドコントロール、クロスオーバー、イコライザーの各効果は働きません。また、設定もできません。
- ゾーンコントロールは、「スピーカーセットアップ」(67ページ)の“Rear SP”項目が“X”のときは*マークが付いた項目の設定はできません。
- ゾーンコントロールをオン中は、センタースピーカーおよびサブウーファースから音が出力されません。

サウンドマネジメントシステム



● サウンドマネジメントシステムとは

キャビン（車種）やスピーカーサイズなど、本機の使用環境を登録します。
タイムディレイとクロスオーバーが自動的に設定され、使用環境の補正や設定ができます。

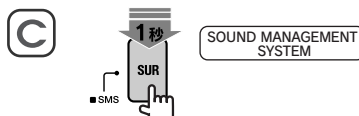


設定を微調整したい、または自分で設定したい場合は「タイムディレイの調節」（64ページ）や「クロスオーバーの調節」（68ページ）で設定することができます。

● サウンドマネジメントシステム

キャビン（車種）やスピーカーの大きさを登録します。

1 サウンドマネジメントモードにします



“SOUND MANAGEMENT SYSTEM” と表示されるまで押し続けます。

- ALL OFFモード中、交通情報を受信中、および「ゾーンコントロール」（61ページ）を設定中は、サウンドマネジメントシステムの設定はできません。

2 設定したい項目を選びます



Cabin : キャビン設定（63ページ）

SP-SET : スピーカー設定（67ページ）

Ch LV : レベル設定（70ページ）
（チャンネルレベルを設定する）

DRC : レンジ設定（71ページ）
（ダイナミックレンジを設定する）

- 設定項目は、各項目の説明をご覧ください。

3 サウンドマネジメントモードを終了します



キャビン（車種）やスピーカーサイズ等を選択することで簡単にタイムディレイとクロスオーバーの設定ができます。
サウンドマネジメントシステムで使用環境を補正することで、DSP効果がより良く発揮されます。また、イコライザーカーブ（KBSカーブ）が自動的に適した設定値に替わります。

● キャビン（車種）の選択

キャビン（車種）を選択することで自動的にタイムディレイが設定され、スピーカー間の距離差を補正できます。

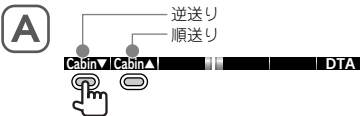
1 サウンドマネジメントモードにします

前記の「サウンドマネジメントシステム」を参照して、サウンドマネジメントモードにします。

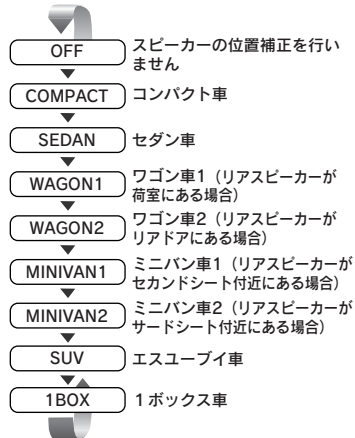
2 キャビン設定モードにします



3 キャビンを設定します




押すたびに次のように切り替わります。



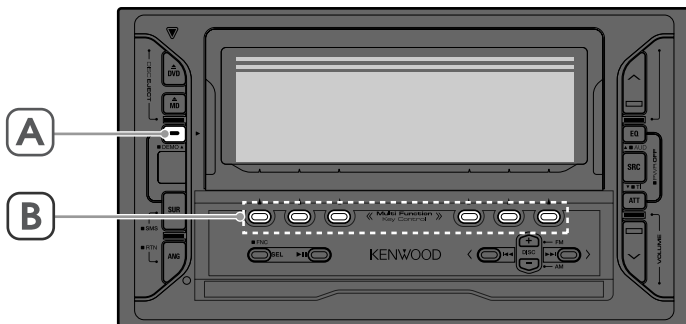
● 「タイムディレイの調節」（64ページ）で設定した場合は“USER”と表示されます。

4 キャビン設定モードを終了します



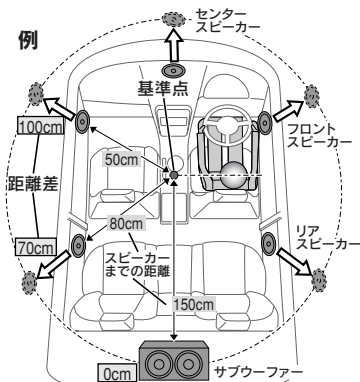
サウンドマネジメントモードを終了するときは、を押します。

サウンドマネジメントシステム



タイムディレイの調節

スピーカーごとにリスニング位置とスピーカの距離を設定し、遅延時間を手動設定します。「キャビン（車種）」の選択で自動設定された距離から調整できます。



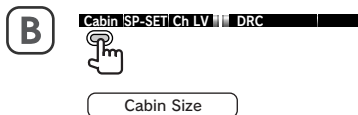
一番遠いスピーカーの距離に合わせて、基準点から各スピーカーまでの距離差（例では四角で囲まれた数字）を設定します。距離差がなくなるように調整します。

● 基準点はフロントシートに座った人の耳の位置です。車室内の中央に置きます。

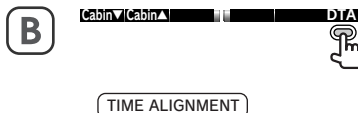
1 サウンドマネジメントモードにします

「サウンドマネジメントシステム」（62ページ）を参照して、サウンドマネジメントモードにします。

2 キャビン設定モードにします



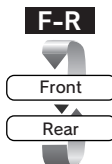
3 タイムディレイモードにします



4 設定するスピーカーを選びます



選択している項目が反転表示されます。F-Rモード中は押すたびに以下のように切り替わります。



5 スピーカー間の距離差を調整します



押すたびに次のように切り替わります。


項目	表示	設定値
CNTR	Center (センタースピーカーの距離差)	0 ～ 170cm (5cm間隔)
F-R	Front (フロントスピーカーの距離差)	0 ～ 610cm (5cm間隔)
	Rear (リアスピーカーの距離差)	0 ～ 610cm (5cm間隔)
SW	SUB (サブウファアの距離差)	0 ～ 610cm (5cm間隔)

(太字は初期設定値)

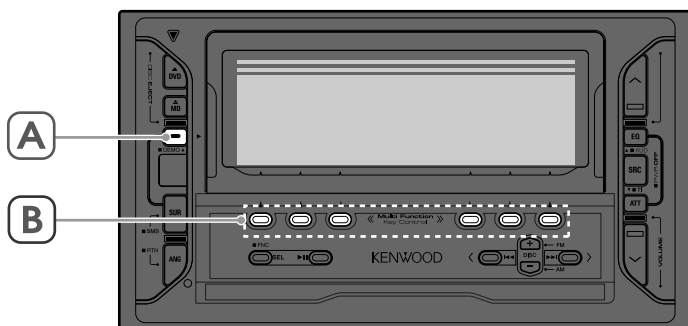
- “Center” は、「スピーカーセットアップ」(67ページ)の“Center SP”項目が“X”のときは設定できません。
- “Rear” は、「スピーカーセットアップ」(67ページ)の“Rear SP”項目が“X”のときは設定できません。
- “SUB” は、「スピーカーセットアップ」(67ページ)の“Sub W”項目が“X”のときは設定できません。

6 タイムディレイモードを終了します



サウンドマネジメントモードを終了するとき
は、 **SURT** を押します。

サウンドマネジメントシステム



タイムディレイ設定のメモリー

「キャビン（車種）の選択」と「タイムディレイの調節」で設定した内容を一括してメモリーします。

1 サウンドマネジメントモードにします

「サウンドマネジメントシステム」（62ページ）を参照して、サウンドマネジメントモードにします。

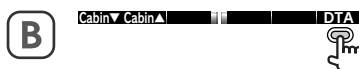
2 キャビン設定モードにします



Cabin Size

始めに「キャビン（車種）の選択」（63ページ）または「タイムディレイの調節」（64ページ）で各項目を設定します。

3 タイムディレイモードにします



TIME ALIGNMENT

4 タイムディレイ設定をメモリーします



Preset Memory

“Preset Memory” が1回点滅表示するまで押し続けます。キャビン設定モードで設定した値が登録されます。

タイムディレイ設定を呼び出すには…



Preset Call

登録した設定値に替わります。タイムディレイ設定を呼び出した時は“Preset”が反転表示されます。

5 タイムディレイモードを終了します



サウンドマネジメントモードを終了するとき、**SUR** を押します。

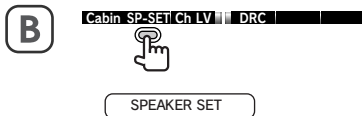
スピーカーセッティング

各スピーカーサイズを選択することで簡単にクロスオーバーを設定できます。

1 サウンドマネジメントモードにします

「サウンドマネジメントシステム」(62ページ)を参照して、サウンドマネジメントモードにします。

2 スピーカー設定モードにします



3 スピーカーを設定します




押すたびに次のように切り替わります。

項目	表示	設定値
CNTR	Center SP (センター スピーカー選択)	×(なし)/4x7cm/5cm/ 10cm/13cm/ 16cmOVER
FRONT	Front SP (フロント スピーカー選択)	OEM/10cm/13cm/ 16cm/17cm/18cm/ 10x15cm/13x18cm/ 15x20cm/16x24cm/ 18x25cm
TW	TW (ツイーターの 選択)	○(あり)/ ×(なし)
REAR	Rear SP (リアスピーカー 選択)	×(なし)/OEM/10cm/ 13cm/16cm/17cm/ 18cm/10x15cm/ 13x18cm/15x20cm/ 16x24cm/18x25cm
SW	Sub W (サブウーファー 選択)	×(なし)/16cm/20cm/ 25cm/30cm/ 38cmOVER

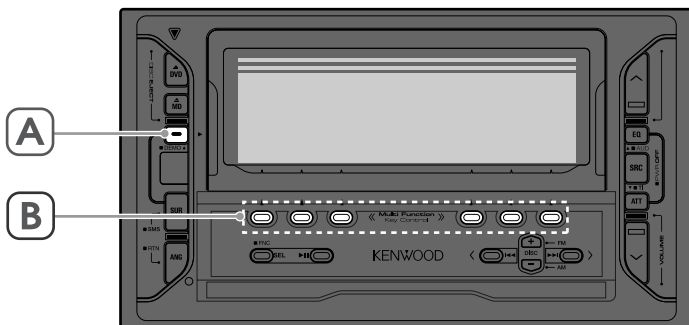
- “OEM” は、再生帯域の狭いスピーカー用の設定です。
- 「クロスオーバーの調節」(68ページ)で設定した場合は設定値は“USER”になります。
- 「サウンドフィールドコントロール (SFC)」(76ページ)を“BYPASS+CENTER”に設定中に、センタースピーカーの設定を一時的にでも“×”(なし)にするとSFCは“BYPASS”になります。
- 「サラウンドコントロール」(72ページ)を“Dolby PL II”に設定時に、センタースピーカーとリアスピーカーの設定を“×”(なし)にすると“Dolby PL II”は解除され、SFCは“BYPASS”になります。
- “×”(なし)に設定するとそのスピーカーからは音は出力されません。

4 スピーカ設定モードを終了します



サウンドマネジメントモードを終了するとき
は、を押します。

サウンドマネジメントシステム



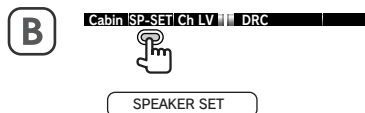
● クロスオーバーの調節

スピーカーごとにクロスオーバー周波数などを設定します。「スピーカーサイズの選択」で自動設定された設定値から調整できます。

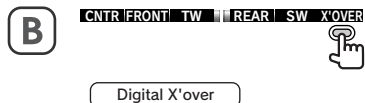
1 サウンドマネジメントモードにします

「サウンドマネジメントシステム」(62ページ)を参照して、サウンドマネジメントモードにします。

2 スピーカ設定モードにします



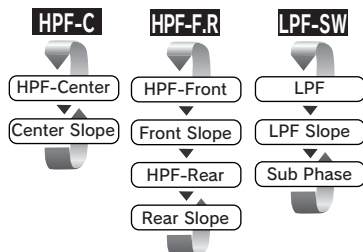
3 クロスオーバーモードにします



4 設定する項目を選びます



押すたびに次のように切り替わります。



- “Center Slope” は「スピーカーセットアップ」(67ページ)の“Center SP”が“X”のときは設定できません。

5 各項目を設定します



押すたびに次のように切り替わります。

項目	表示	設定値
HPF-C (センター/ハイパス フィルター)	HPF-Center (カット周波数選択)	Through/30/60/ 70/80/90/100/120 /150 (Hz)
	Center Slope (スロープ選択)	12/18/24 (dB)
HPF-FR (クロストリア ハイパスフィルター)	HPF-Front (カット周波数選択)	Through/30/60/ 70/80/90/100/120 /150 (Hz)
	Front Slope (スロープ選択)	12/18/24 (dB)
	HPF-Rear (カット周波数選択)	Through/30/60/ 70/80/90/100/120 /150 (Hz)
LPF-SW (サブウーファ ローパスフィルター)	Rear Slope (スロープ選択)	12/18/24 (dB)
	LPF (カット周波数選択)	60/70/80/90/100 /120/150 (Hz)
	LPF Slope (スロープ選択)	12/18/24 (dB)
	Sub Phase (位相選択)	Normal/Reverse

- 「スピーカーセットアップ」(67ページ)で“X”に設定しているスピーカーは、クロスオーバーの選択はできません。
- 詳しい機能説明は「Help? Word」(120ページ)を参照してください。

6 クロスオーバーモードを終了します

サウンドマネジメントモードを終了するとき
は、を押します。

クロスオーバー設定のメモリー

「スピーカーセットアップ」と「クロスオーバーの調節」で設定した内容を一括してメモリーします。

1 サウンドマネジメントモードにします

「サウンドマネジメントシステム」(62ページ)を参照して、サウンドマネジメントモードにします。

2 スピーカー設定モードにします

SPEAKER SET

始めに「スピーカーセットアップ」(67ページ)、「クロスオーバーの調節」(68ページ)で各項目を設定します。

3 クロスオーバーモードにします

Digital X'over

4 クロスオーバー設定を登録します

“Preset Memory” が1回点滅表示するまで押し続けます。スピーカ設定モードで設定した値が登録されます。

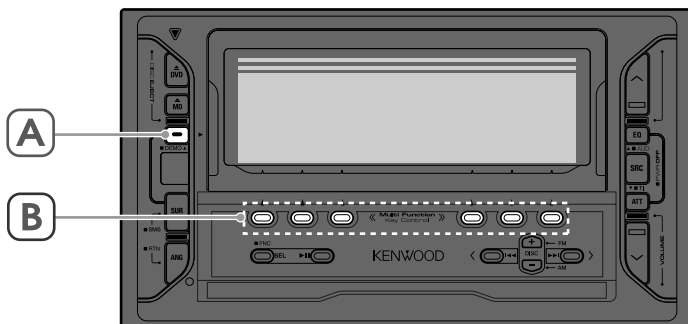
クロスオーバー設定を呼び出すには…

登録した設定値に替わります。
クロスオーバー設定を呼び出した時は
“Preset” が反転表示されます。

5 クロスオーバーモードを終了します

サウンドマネジメントモードを終了するとき
は、を押します。

サウンドマネジメントシステム



チャンネルレベル設定

スピーカーの設定位置別に音量を設定します。
また、5チャンネルの音量レベルを合わせます。

1 サウンドマネジメントモードにします

「サウンドマネジメントシステム」(62ページ)
を参照して、サウンドマネジメントモードに
します。

2 チャンネルレベル設定モードにします

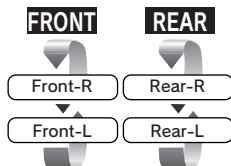


CHANNEL LEVEL

3 設定するスピーカーを選びます



FRONT/ REAR項目中は押すたびに以下のよ
うに切り替わります。



4 チャンネルレベルを設定します

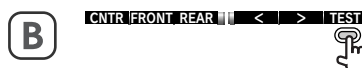
音量を設定する



項目	表示	設定値
CNTR	Center (チャンネルレベル選択)	-10~00~+10 (dB)
FRONT	Front-R (チャンネルレベル選択)	-10~00~+10 (dB)
	Front-L (チャンネルレベル選択)	-10~00~+10 (dB)
REAR	Rear-R (チャンネルレベル選択)	-10~00~+10 (dB)
	Rear-L (チャンネルレベル選択)	-10~00~+10 (dB)

- “Center”は「スピーカーセットアップ」(67ペ
ージ)の“Center SP”が“X”のときは設定でき
ません。
- “Rear-R”、“Rear-L”は「スピーカーセットア
ップ」(67ページ)の“Rear SP”が“X”のときは
設定できません。

現在のチャンネルレベルを出力する



Test Tone On

押すたびにテスト信号がオン/オフします。
テスト信号をオンにすると、各チャンネル順
に2秒間隔でテスト信号を出します。

5 チャンネルレベル設定モードを終了する



サウンドマネジメントモードを終了するとき
は、を押します。

ダイナミックレンジ設定

再生のダイナミックレンジを設定します。ドルビーデジタル対応のソフトを使用しているときに効果が現れます。

! 「オーディオ設定メニュー」(36ページ)でも設定が行えます。

1 サウンドマネジメントモードにします

「サウンドマネジメントシステム」(62ページ)を参照して、サウンドマネジメントモードにします。

2 ダイナミックレンジモードにします



DRC

3 設定する項目を選びます



設定したいダイナミックレンジのボタンを押します。

Wide : WIDE
(ダイナミックレンジ広い)

Normal : NORMAL
(ダイナミックレンジ普通)

Narrow : NARROW
(ダイナミックレンジ狭い)

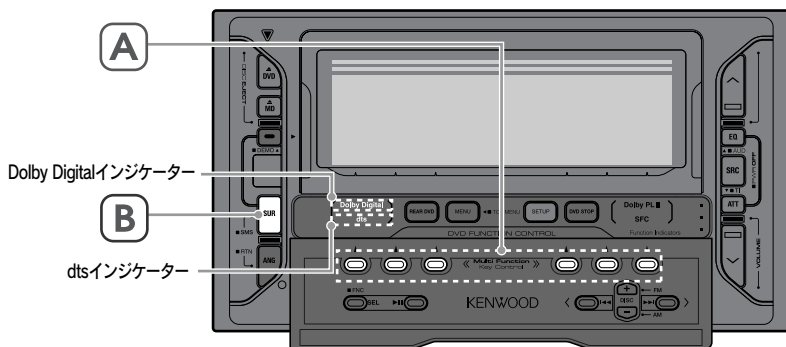
! ダイナミックレンジを狭くすると、小さな音が聴きやすくなります。

4 ダイナミックレンジモードを終了します



サウンドマネジメントモードを終了するとき
は、を押します。

サラウンドコントロール



- **サラウンドコントロールとは**
ドルビープロロジックIIなどを設定して好みの音場効果や音声にします。

始めにキャビン（車種）やスピーカーサイズなど、本機の使用環境をサウンドマネジメントシステム（62ページ）に登録しておきます。

- DVDオペレーションカバーを開けているときは、再生音声をDTS対応ソフトをプレイすると、DTSインジケーターが点灯します。
- DVDオペレーションカバーを開けているときは、ドルビーデジタル対応のソフトをプレイすると、Dolby Digitalインジケーターが点灯します。

- **サラウンドコントロール**
サラウンドコントロールを設定します。

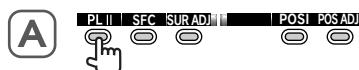
1 サラウンドコントロールにします



“SORROUND CONTROL”と表示されます。

- ALL OFFモード中、交通情報を受信中、および「ゾーンコントロール」（61ページ）を設定中は、サラウンドコントロールの設定はできません。

2 設定したい項目を選びます



設定できる項目は次のとおりです。

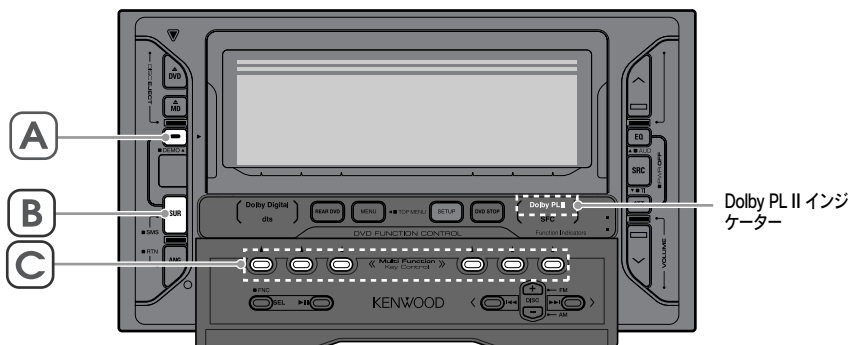
- PL II** : Dolby Pro Logic II（74ページ）
（ドルビープロロジックII）
- SFC** : サウンドフィールド（76ページ）
（疑似音場効果）
- SUR ADJ** : サラウンド設定（74、76ページ）
（サラウンドコントロールの微調節）
- POS** : ポジション切り替え（78ページ）
- POS ADJ** : ポジション設定（78ページ）
（ポジションの微調節）

- 設定項目は、各項目の説明をご覧ください。
- サラウンドコントロールは設定している音声言語やメディアにより、設定できない項目があります。
- サラウンド設定はDolby Pro Logic II項目を“MUSIC”またはサウンドフィールド項目を“BYPASS”、“BYPASS+CENTER”以外に設定している場合に設定できます。
- Dolby Pro Logic IIとサウンドフィールドの効果を同時に使用することはできません。
- “Dolby Pro Logic II”は「スピーカーセットアップ」(67ページ)の“Center SP”と“Rear SP”が“X”のときは設定できません。

3 サラウンドコントロールを終了します



サラウンドコントロール



ドルビープロロジック II

ソースに合わせてドルビープロロジック II のモードを設定します。

1 サラウンドコントロールにします

「サラウンドコントロール」(72ページ)を参照して、サラウンドコントロールモードにします。

2 Dolby Pro Logic IIを設定します



PL II SFC SUR ADJ POST POS ADJ



Dolby Pro Logic II

押すたびに次のように切り替わります。



- 詳しい機能説明は「Help? Word」(120ページ)を参照してください。
- モノラル信号再生時はMATRIXモード以外ではフロントおよびリアスピーカーからはほとんど音が出されません。モノラル信号再生時はMATRIXモードにしてください。
- DVDオペレーションパネルを開いているときは、PL II効果がオンになると、Dolby Pro Logic II インジケーターが点灯します。
- Dolby Pro Logic II の設定を行うと、Dolby Pro Logic II の特性上音が小さくなります。
- Dolby Pro Logic II の設定を行うと、「サラウンドフィールドコントロール (SFC)」(76ページ)は「BYPASS」になります。
- 「サラウンドフィールドコントロール (SFC)」(76ページ)の設定を行うと、Dolby Pro Logic II の設定は「MUSIC」になります。

3 サラウンドコントロールを終了します



ドルビープロロジック II サラウンド設定

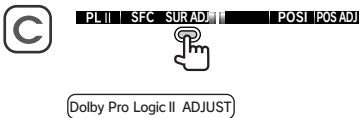
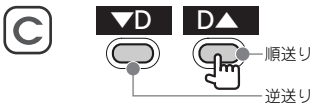
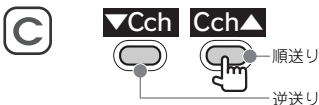
ドルビープロロジック II のMUSICモードの微調節を行います。

1 サラウンドコントロールにします

「サラウンドコントロール」(72ページ)を参照して、サラウンドコントロールモードにします。

2 MUSICモードに設定します

前記の「ドルビープロロジックII」を参照して“MUSIC”モードに設定します。


3 MUSICモードを微調節します**4 設定を行います****パノラマ設定****ディメンションコントロール****センターチャンネル設定**

設定できる項目と値は次の通りです。

項目	表示	設定値
PNRM	Panorama* (ステレオ感の増幅)	On/Off
▼D D▲	Dimension* (フロント/リアの配分の調整)	R3/R2/R1/ Neutral/ F1/F2/F3
▼Cch Cch▲	Center Width* (センター音声の配分の調整)	0 ~ 7

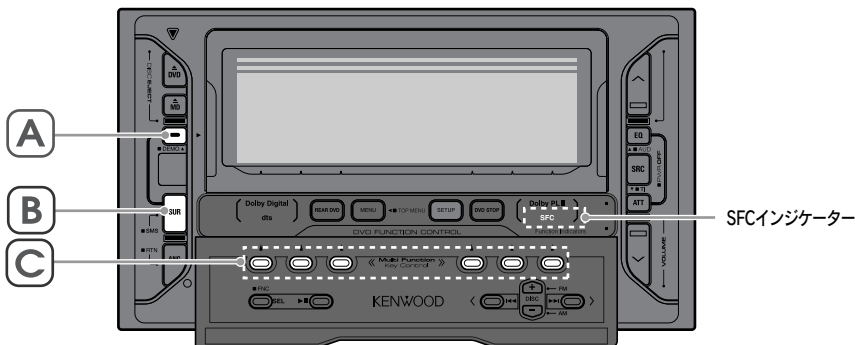
- *マークが付いた項目の詳細な機能説明は「Help? Word」の“Dolby Pro Logic II MUSIC” (121ページ) を参照してください。

5 微調節モードを終了します

サウンドコントロールモードを終了するときは、を押します。

- 「スピーカーセットアップ」(67ページ) の設定によって、設定できる項目は異なります。

サウンドコントロール



サウンドフィールドコントロール (SFC)

疑似音場効果呼び出します。

1 サラウンドコントロールにします

「サウンドコントロール」(72ページ)を参照して、サウンドコントロールモードにします。

2 SFCを選択します



押すたびに次のように切り替わります。



- “BYPASS+CENTER”は「スピーカーセットアップ」(67ページ)の“Center SP”が“X”のときは選択できません。
- DVDオペレーションカバーが開いているときに、サウンドフィールドコントロール効果がオンになると“SFC”インジケータが点灯します。ただし、“BYPASS”または“BYPASS+CENTER”に設定しているときは点灯しません。

3 サラウンドコントロールを終了します



SFCサウンド設定

サウンドフィールドコントロールの微調節を行います。

1 サラウンドコントロールにします

「サウンドコントロール」(72ページ)を参照して、サウンドコントロールモードにします。

2 SFCを設定します

前記の「サウンドフィールドコントロール (SFC)」を参照してSFC項目を設定します。

3 SFC微調節モードにします



- SFC設定が“BYPASS”および“BYPASS+CENTER”のときは調整できません。

4 設定値を選択します



押すたびに次のように切り替わります。


項目	表示	設定値
NUANCE	SFC Nuance (DSP効果の レベル調節)	Low (DSP効果が小さい) / Mid/ High (DSP効果が大きい)
DBB	DBB Step (リア側の 低音量の調節)	Step1(ブース域が狭い) / Step2/ Step3(ブース域が広い)
C-LV	CHANNEL LEVEL Center (センタースピーカー のレベル設定)	Low (レベルが低い) / Mid/ High (レベルが高い)





(太字は初期設定値)

- “DBB Step” は「スピーカーセットアップ」(67ページ)の“Rear SP”が“X”のときは設定できません。
- “CHANNEL LEVEL Center” は「スピーカーセットアップ」(67ページ)の“Center SP”が“X”のときは設定できません。

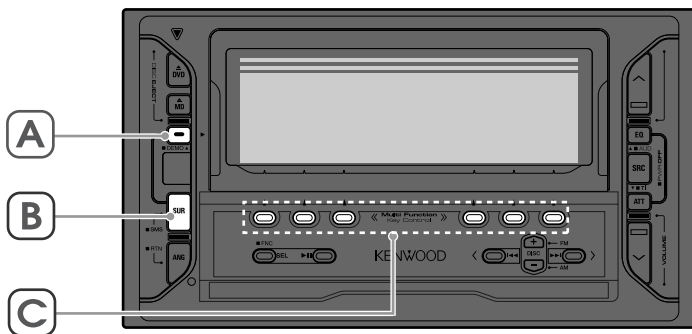
5 微調節モードを終了します



サラウンドコントロールモードを終了するときは、 を押します。

- 手順3の操作方法以外でもSFC設定モードを設定することができます。
<   > で項目の選択、  で設定値の選択ができます。

サラウンドコントロール



● ポジション設定

聴く位置を設定してサラウンドコントロール効果を調節します。

1 サラウンドコントロールにします

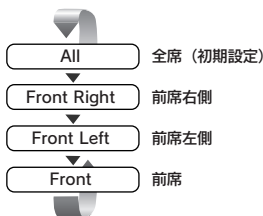
「サラウンドコントロール」(72ページ)を参照して、サラウンドコントロールモードにします。

2 ポジションを設定します



POSITION

押すたびに次のように切り替わります。



3 サラウンドコントロールを終了します



● ポジション調節

ポジション設定で設定したポジションの微調節を行います。

1 サラウンドコントロールにします

「サラウンドコントロール」(72ページ)を参照して、サラウンドコントロールモードにします。

2 ポジションを微調節します

前記の「ポジション設定」を参照して、ポジションを設定します。

3 ポジションを微調節します

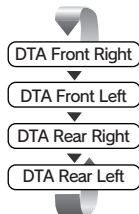


POSITION ADJUST

4 調整する項目を選びます



選択している項目が反転表示されます。
DTA F-R項目中は押すたびに以下のように切り替わります。



5 設定値を選択します



項目	表示	設定値
DTA-C	DTA Center (センタースピーカーの距離差)	0 ~ 150(cm) (5cm間隔)
DTA F-R	DTA Front Right (右フロントスピーカーの距離差)	0 ~ 150(cm) (5cm間隔)
	DTA Front Left (左フロントスピーカーの距離差)	0 ~ 150(cm) (5cm間隔)
	DTA Rear Right (右リアスピーカーの距離差)	0 ~ 150(cm) (5cm間隔)
	DTA Rear Left (左リアスピーカーの距離差)	0 ~ 150(cm) (5cm間隔)
DTA SW	DTA SUB (サブウーファアの距離差)	0 ~ 150(cm) (5cm間隔)

- “DTA Rear Right”、“DTA Rear Left” は「スピーカーセットアップ」(67ページ) の “Rear SP” が “X” のときは選択できません。
- “DTA Center” は「スピーカーセットアップ」(67ページ) の “Center SP” が “X” のときは選択できません。
- “DTA SUB” は「スピーカーセットアップ」(67ページ) の “Sub W” が “X” のときは選択できません。

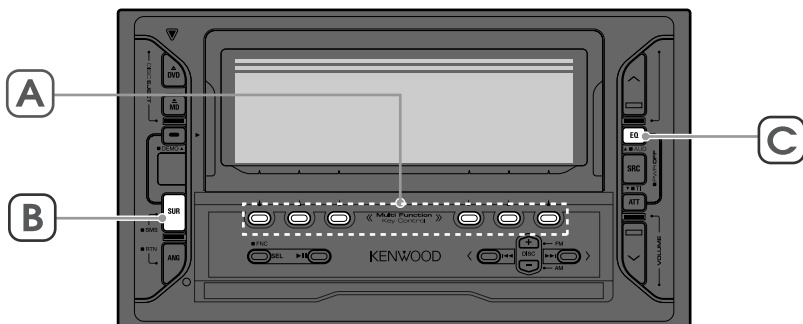
6 微調節モードを終了します



サラウンドコントロールモードを終了するとき、 を押します。

- 「タイムディレイの調節」(64ページ) の設定を変えると、ポジション設定は “Usr” になります。
- 左記の操作方法以外に で項目の選択、 FM AM で設定値の選択ができます。

サラウンドコントロール /



● ポジション設定のメモリー

「ポジション設定」で設定した内容を一括してメモリーします。

1 サラウンドコントロールにします

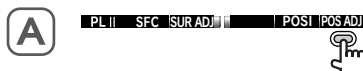
「サラウンドコントロール」(72ページ)を参照して、サラウンドコントロールモードにします。

2 ポジション設定モードにします



POSITION

3 ポジション微調節モードにします

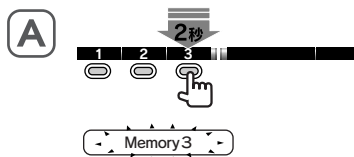


POSITION ADJUST

4 ユーザーモードにします

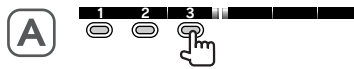


5 登録する番号を選びます



“Memory○”が1回点滅表示するまで押し続けます。

6 ポジション設定を呼び出す



登録した設定値に替わります。

6 サラウンドコントロールを終了します



イコライザーカーブの設定や調整をします。

イコライザー機能を使用する前に

始めにキャビン（車種）やスピーカーの情報をサウンドマネジメントシステム（62ページ）に登録します。

サウンドマネジメントシステムで使用環境を設定することでイコライザーカーブ（KBSカーブ）が自動的に適した設定値に替わります。

イコライザーカーブの選択

使用環境に補正されたイコライザーカーブ（KBSカーブ）を呼び出します。

1 イコライザーモードにします



2 イコライザーカーブを選択します



選びたいイコライザーカーブのボタンを押します。

ROCK : ROCK（ロック）

POPS : POPS（ポップス）

DANCE : DANCE（ダンス）

VOCAL : VOCAL（ボーカル）

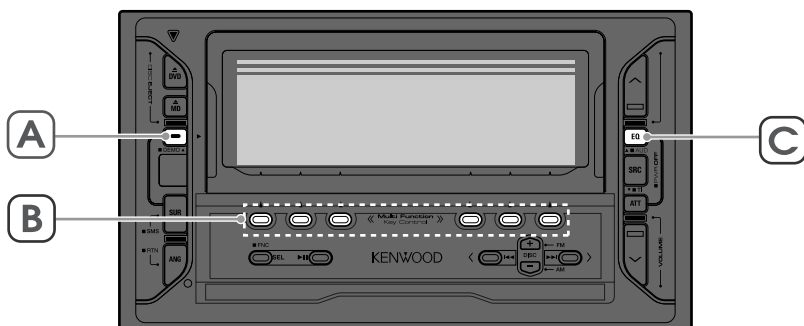
NAT. : NATURAL（ナチュラル）

- 「イコライザーカーブの調節」（82ページ）で設定した場合は“USER”と表示されます。

3 イコライザーモードを終了します



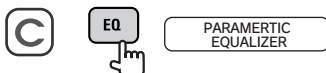
イコライザーコントロール



イコライザーカーブの調節

ゲインレベル、クオリティファクタ（鋭鋭）、中心周波数を設定してイコライザーカーブを調整できます。

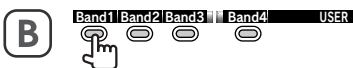
1 イコライザーモードにします



2 イコライザー調整モードにします



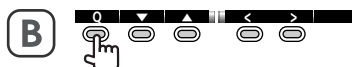
3 調整するバンドを選択します



USER

を押すとユーザーイコライザーモードになります。詳しくは「ユーザーイコライザーカーブのメモリー」(84ページ)、「ユーザーイコライザーカーブの呼び出し」(85ページ)を参照してください。

4 イコライザーカーブを設定します

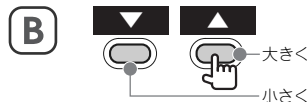


クオリティファクタ（鋭鋭）設定（“Q”）



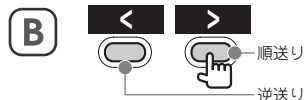
押すごとに右表のようにクオリティファクタが切り替わります。

レベル設定（“LV”）



押すごとに次のようにレベルが変わります。

中心周波数設定（“FQ”）



押すごとに次のように中心周波数が切り替わります。

項目	表示	設定値
Band1	Q (クオリティファクタ)	0.25/0.5/1.0/2.0
	LV (ゲインレベル選択)	-09~-0~+09 (dB)
	FQ (中心周波数)	60/80/100/120/ 160/200/250 (Hz)
Band2	Q (クオリティファクタ)	0.25/0.5/1.0/2.0
	LV (ゲインレベル選択)	-09~-0~+09 (dB)
	FQ (中心周波数)	315/400/500/630/ 800/1k (Hz)
Band3	Q (クオリティファクタ)	0.25/0.5/1.0/2.0
	LV (ゲインレベル選択)	-09~-0~+09 (dB)
	FQ (中心周波数)	1.25k/1.6k/2k/ 2.5k/3.15k/4k (Hz)
Band4	Q (クオリティファクタ)	0.25/0.5/1.0/2.0
	LV (ゲインレベル選択)	-09~-0~+09 (dB)
	FQ (中心周波数)	5k/6.3k/8k/10k/ 12.5k/16k (Hz)


5 バンド選択画面に戻ります



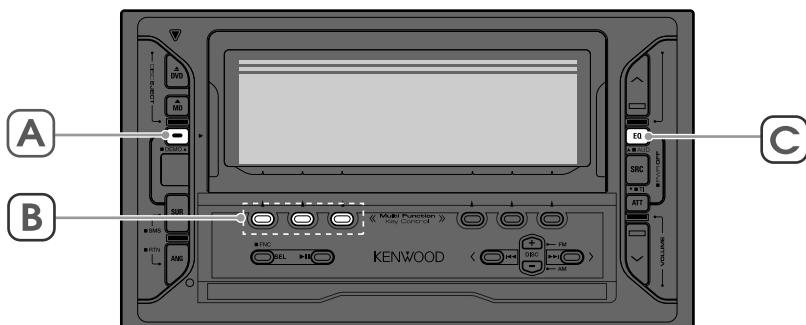
6 3~5を繰り返してEQカーブを調整します

7 イコライザー調整モードを終了します



イコライザーモードを終了するときは、を押します。

イコライザーコントロール



ユーザーイコライザーカーブのメモリー

ユーザーイコライザーカーブを3種類までメモリーして、簡単に呼び出すことができます。

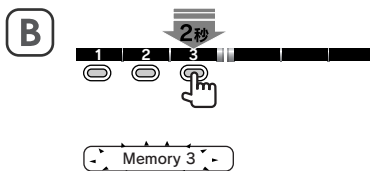
1 イコライザーモードにします



2 ユーザーイコライザーモードにします



3 登録する番号を選びます



“Memory○”が1回点滅表示するまで押し続けます。

4 ユーザーイコライザーモードを終了します



イコライザーモードを終了するときは、EQを押します。

ユーザーイコライザーカーブの呼び出し

メモリーしたユーザーイコライザーカーブを呼び出します。

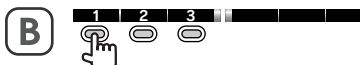
1 イコライザーモードにします



2 ユーザーイコライザーモードにします



3 呼び出す番号を選びます



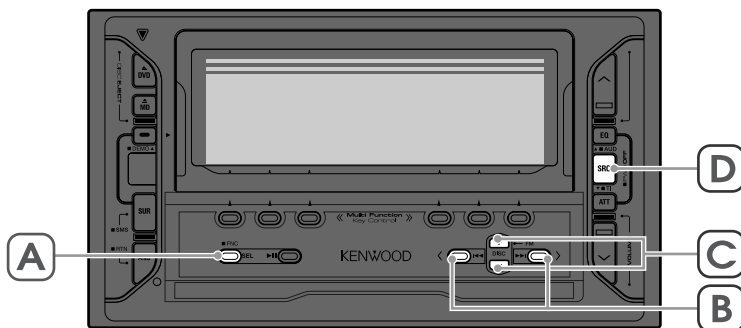
選択した番号が反転表示して、登録したイコライザーカーブに替わります。

4 ユーザーイコライザーモードを終了する



イコライザーモードを終了するときは、EQを押します。

Function



ファンクションセット

操作時のピープ音などの各種の機能を設定します。

1 設定したい項目があるソースにします

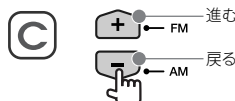


2 ファンクションセットモードにします



“FUNCTION SET” と表示されるまで押し続けます。

3 設定項目を選択します



4 設定値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

DVD/VCD/MD/CD/MP3/WMA/Changer モード中の設定項目

設定項目	設定値
Scroll* (テキスト表示のスクロール設定)	Auto/Manual

(太字は初期設定値)

- MDプレイ時とDVD/VCD/CD/MP3/WMA/Changerプレイ時のそれぞれで設定が可能です。
- 別売品のユニット（チェンジャーなど）では、テキスト機能に対応していないと設定できません。

TUNERモード中の設定項目

設定項目	設定値
SEEKモード* (チューニングモード設定)	Auto 1/ Auto 2/Manual
MONO設定* (FM放送モノラル受信設定)	On/Off
オートメモリー スタート？	設定の方法は45ページをご覧ください

(太字は初期設定値)

- “MONO設定” 項目はFM放送を受信時に設定が可能になります。
- FM放送モノラルチューニングをオンにしているときはMONOインジケーターが点灯します。

本機のいろいろな機能を設定します。

ALL OFFモード中の設定項目

設定項目	設定値
BEEP*(ビープ音設定)	On/Off
MD Group* (MDグループ管理機能設定)	On/Off
MD漢字優先表示* (MDタイトルの漢字の優先表示)	On/Off
DVD漢字優先* (CDテキストの漢字の優先表示)	On/Off
オープニング表示* (電源オン時のデモンストレーション)	On/Off
セキュリティ登録* (セキュリティコードの登録)	登録の方法は88ページをご覧ください。
ナビガイド* (ナビ音声ガイド時の設定)	Off/ATT/INT
AUX* (AUXソースの切り替え設定)	On/Off
内蔵AMP* (内蔵アンプの出力設定)	On/Off
S.I機能* (盗難防止用警告ランプ設定)	On/Off
CD読み取りモード* (CDの読み込み設定)	1/2

(太字は初期設定値)

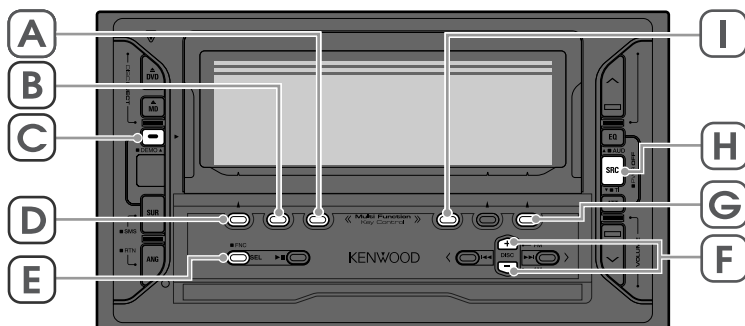
- AUXソースを使用しないときは“AUX”項目を“Off”に設定してください。“On”のまま使用すると雑音が出ることがあります。
- ALL OFFモード中は、ナビ音声ガイドの割り込みはできません。
- “ナビガイド”項目を“INT”に設定して、ナビ音声ガイドが割り込んだときに、ナビゲーションシステムでKSFを再生していると、ナビゲーションによってはKSFの音声ナビ音声ガイドと一緒に聴こえる場合があります。
- “CD読み取りモード”はディスクがイジェクトされているときにのみ設定ができます。
- “CD読み取りモード”は「CD設定メニュー」(37ページ)でも設定が行えます。

5 ファンクションセットモードを終了します



- *マークが付いた項目の詳細機能説明は「Help? Word」(122ページ)を参照してください。

Function



セキュリティコード

暗証番号を登録することにより盗難を抑制します。

- 設定したセキュリティコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

1 ALL OFFモードにします

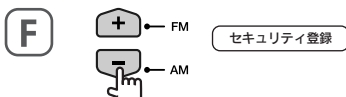


2 ファンクションセットモードにします

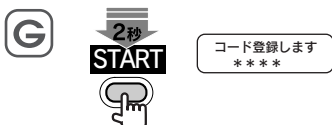


“FUNCTION SET” と表示されるまで押し続けます。

3 セキュリティコード項目を選択します

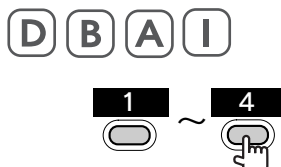


4 セキュリティコード入力を開始します



“コード登録します” と表示されるまで押し続けます。

5 セキュリティコードを入力します



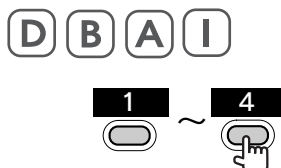
例：3510の場合

ボタン	1	2	3	4
押す回数	4	6	2	1
表示	3	5	1	0

6 セキュリティコードを登録します



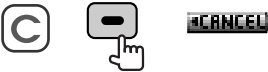
7 セキュリティコードを再入力します



確認のためセキュリティコードを手順5の方法で再度入力します。

セキュリティコードを設定すると、電源コードを外したときなどの次に使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになり、盗難防止の手助けとなります。

コード入力を中止するには…



8 セキュリティコードを確認登録します



セキュリティコードの登録が完了後に、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーの接続から外すと、登録したセキュリティコードの入力が必要になります。詳しくは右記をご覧ください。

手順5と違うコードを入力すると、手順5の1回目のセキュリティコードの入力に戻ります。

リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外してから最初に使うときは…

1 セキュリティコードを入力します

セキュリティコードを手順5の方法で入力します。

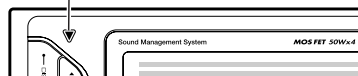
2 セキュリティコードを確定します



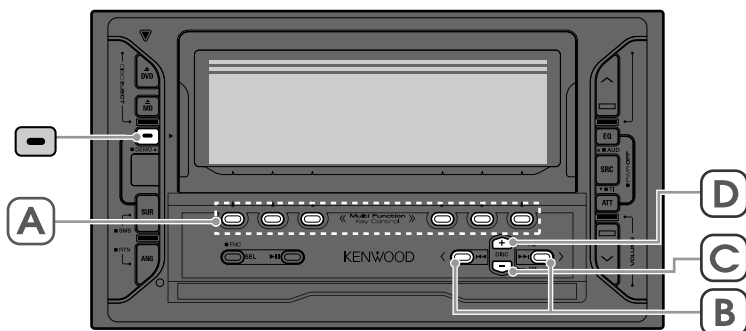
本機が使用可能となります。

- セキュリティコードを登録したときと違うコードで入力すると、“コード入力してください NG!”と表示した後、電源が自動的にオフになります。このようなときは、**[SRC]** (SRC) を押して電源をオンしてから再度セキュリティコードを入力してください。
- 本機はセキュリティコード機能の他にS.I (セキュリティインジケーター) 機能を採用しています。「ファンクションセット」(86ページ)の“S.I機能”項目を“On”にしておくと、ACCをオフしたときにLEDが点滅し、盗難防止ランプの代用として使用できます。

S.I (セキュリティインジケーター)

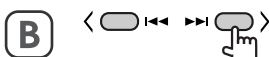


TVコントロール



チャンネル選択

受信するTV放送を選びます。



動作は接続している別売品のTVモニターの設定によって異なります。
詳しくは、TVモニターの取扱説明書を参照してください。

バンド／ビデオ切り替え

TVのバンドとビデオ入力を切り替えます。



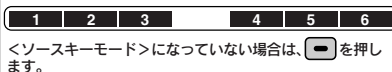
押すたびにTVバンドとビデオ入力切り替わります。

プリセットコール

TVのプリセットチャンネルにメモリーされているチャンネルを選びます。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。



1 バンドを選択します



2 メモリーボタン (1~6のいずれか) を選びます



押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされているチャンネルが呼び出されます。

別売品のLX-BUS 対応のナビゲーション “HDX-710” などが接続されているときに、本機からTVのコントロールをすることもできます。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key」(107ページ)をご覧ください。


● マニュアルメモリー

受信中のTV放送局をメモリーします。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で作します。



<ソースキーモード>になっていない場合は、を押します。

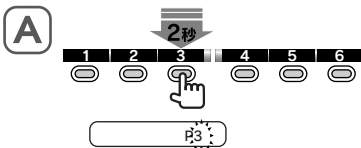
1 バンドを選択します



2 メモリーする放送局を選択します



3 メモリーするボタン (1~6のいずれか) を選びます



ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

● 音声多重切り替え

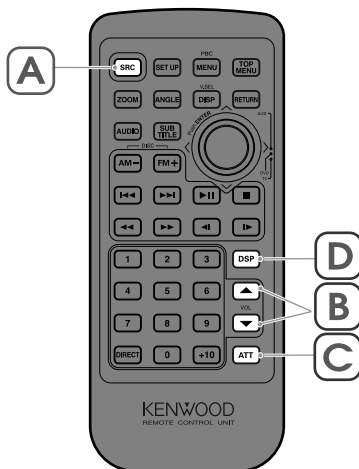
音声多重のメイン音声とサブ音声を切り替えます。



リモートコントロール

各モード共通

リモコンモードスイッチの位置がどのモードに設定されているときでも、基本的な操作は行えます。



ソース切り替え

A



プレイするソースを切り替えます。

音量調節

B



音量を調節します。

アッテネーター

C



ワンタッチで音量を小さくします。
もう一度押すと元の音量に戻ります。
□ (VOL▲) を押しても元の音量に戻ります。

DSPシステム

D

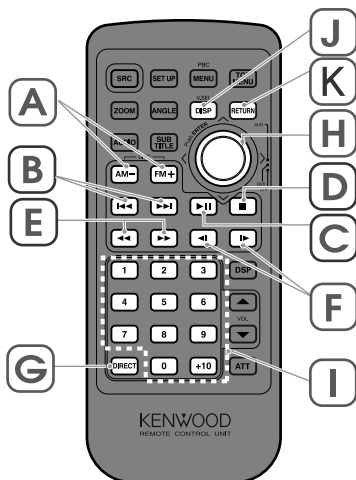


サラウンドコントロールのサウンドフィールド項目、Dolby Pro Logic II 項目を切り替えます。
1 秒以上押すと、DSPモードを解除します。

リモートコントロール

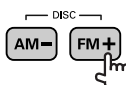
DVD/VCD/CD/MP3/WMA モード

リモコンモードスイッチの位置が「DVD」モードに設定されているときに操作ができます。



フォルダサーチ

A



プレイするフォルダを選択します。

トラック/ファイル/チャプターサーチ

B



プレイする曲/ファイル/チャプターを選択します。
DVD/VCDプレイ時はポーズ中に押すとコマ送り/コマ戻しします。

プレイ/ポーズ

C



プレイを一時停止します。
もう一度押すと、プレイを再開します。

停止

D



CD/MP3/WMA/DVD/VCDプレイ時にプレイを停止します。
詳しくは「CD/MP3/WMAストップ」(CD/MP3/WMAプレイ時：25ページ/「DVD/VCDストップ」(DVD/VCDプレイ時：33ページ)をご覧ください。

早送り/早戻し

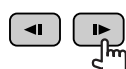
E



- CD/MP3/WMA/DVD/VCDをプレイ時
早送り/早戻しします。
- DVD/VCDをプレイ時
押すたびに1段階、2段階、3段階の速度に切り替わります。

スロー送り/スロー戻し

F



- DVDをプレイ時
1段階、2段階、3段階の速度でスロー送り/戻しします。
- VCDをプレイ時
1段階、2段階、3段階の速度でスロー送りします。

ダイレクトサーチ

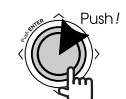
G



ダイレクトサーチの方法は「ダイレクトサーチ」(CD/MP3/WMAプレイ時：22ページ/ DVDプレイ時：32ページ)をご覧ください。

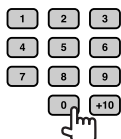
アイテム選択

H



メニュー表示時にアイテムを選択します。

テンキー



ダイレクトサーチを行うときにテンキーを使用します。

ダイレクトサーチの方法は「ダイレクトサーチ」(CD/MP3/WMAプレイ時：22ページ/ DVDプレイ時：32ページ)をご覧ください。

ディスプレイ表示切り替え



モニター上の表示を切り替えます。

-DVDプレイ中
情報表示なし、演奏時間、DVD情報、音声フォーマット、ボリュームラベル

-VCDプレイ中
情報表示なし、演奏時間、ボリュームラベル

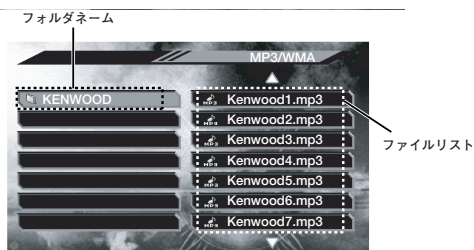
-CDプレイ中
演奏時間、テキスト表示

-MP3/WMAプレイ中
演奏時間、テキスト情報(フォルダネームなど)、フォルダ/ファイルセレクト



MP3/WMAプレイ中のフォルダ/ファイルセレクトは以下をご覧ください。

<モニター表示：MP3/WMAフォルダ/ファイルセレクト画面>



-左右に動かす
フォルダネームとファイルリストにカーソルが移動します。

-上下に動かす
カーソルをフォルダまたはファイルに合わせます。



-決定
フォルダまたはファイルを選択します。

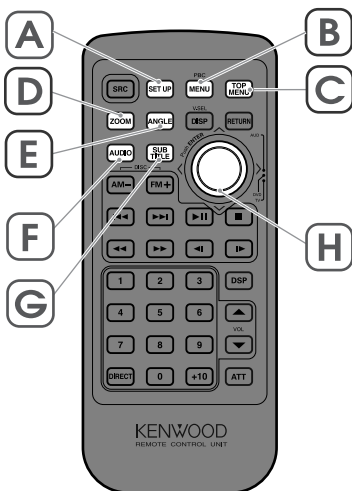


現在再生しているフォルダネーム/ファイルリストを表示します。

リモートコントロール

DVD/VCD/CD/MP3/WMA/ DVDセットアップモード

リモコンモードスイッチの位置が [DVD] モードに設定されているときに操作ができます。



SetUp



セットアップメニューを表示します。

MENU



DVDのメニューを表示します。
VCDプレイ時にPBCをオン/オフします。

解除するには…



メニューを解除します。

TOPMENU



DVDのトップメニューを表示します。

ズーム



DVD/VCDプレイ時にズームを切り替えます。

アングル



DVDプレイ時にアングルを切り替えます。

音声



DVDプレイ時に音声言語を切り替えます。
VCDプレイ時に音声出力チャンネルを切り替えます。

字幕切り替え



DVDプレイ時に字幕の表示のオン/オフや言語選択します。

表示項目選択切り替え

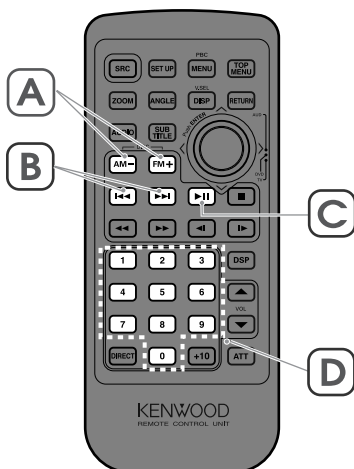


テキストなどを選択します。
- 左右に動かす
表示切り替え項目を選択します。
- 上下に動かす
表示切り替えをします。

リモートコントロール

MD/Changer/KSF モード

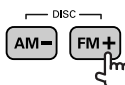
リモコンモードスイッチの位置が [AUD] モードに設定されているときに操作ができます。



ディスク/グループサーチ

ディスクサーチ：ディスクチェンジャーのみ

A



プレイするディスク/グループを選択します。

また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のディスクをダイレクトサーチします。

トラックサーチ

B



プレイする曲を選択します。

また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のトラックをダイレクトサーチします。

プレイ/ポーズ

C

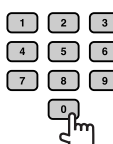


プレイを一時停止します。

もう一度押すと、プレイを再開します。

テンキー

D



テンキーに続けてディスクサーチまたはトラックサーチキーを押すと、ダイレクトサーチできます。

—グループMDをプレイ時

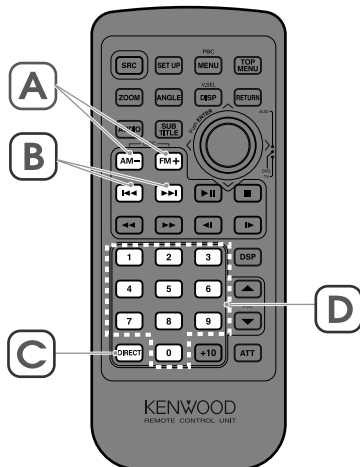
テンキーに続けてトラックサーチキーを押すと、プレイ中のグループ内のトラックをダイレクトサーチできます。



KSFをプレイ時は、ダイレクトサーチできません。

TUNER モード

リモコンモードスイッチの位置が「AUD」モードに設定されているときに操作ができます。



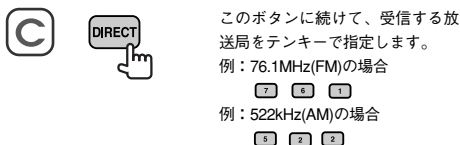
バンド切り替え



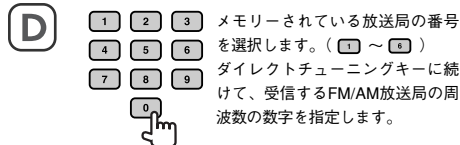
選局



ダイレクトチューニング



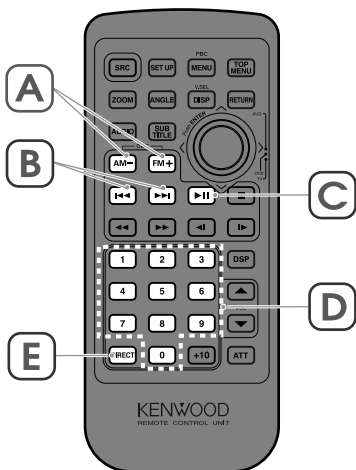
テンキー



リモートコントロール

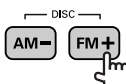
DNPS (ディスクネームプリセット) / SNPS (ステーションネームプリセット)

リモコンモードスイッチの位置が [AUD] モードに設定されているときに操作ができます。



文字選択

A



文字を順に切り替えます。

カーソル

B



カーソルを文字を入力する位置に移動します。

文字種切り替え

C



入力する文字の種類 (英大文字/英小文字/カタカナ/ひらがな/数字・記号) を切り替えます。

テンキー

D



以下のテンキーリストを参照して、文字を入力します。

例: 「コ」を入力する場合
(カタカナ)

[3] (9回押す)

例: 「h」を入力する場合
(英小文字)

[4] (2回押す)

<テンキーリスト>

ア	カABC	サDEF
1	2	3
タGHI	ナJKL	ハMNO
4	5	6
マPRS	ヤTUV	ラWXY
7	8	9
	ワQZ	
	0	

終了

E

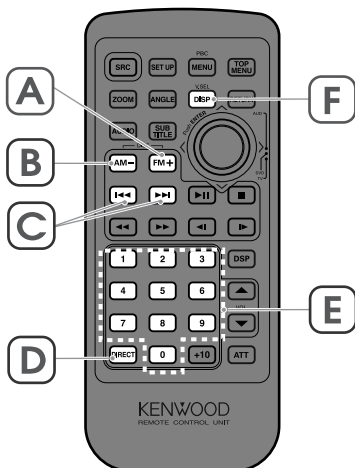


登録が完了します。

● SNPS/DNPSを開始するには、本体のボタンで操作します。
● 詳しい操作方法は48ページを参照してください。

TV モード

リモコンモードスイッチの位置が「TV」モードに設定されているときに操作ができます。



！
[TV]モードに設定しているときは、接続しているケンウッド製モニターにリモコンに向けて操作してください。[AUD]モードに設定しているときでもディスプレイ表示切り替え以外の機能操作は行えますが、この場合は本機に向かって操作してください。

バンド／ビデオ切り替え

A



受信するTVバンドの放送局とビデオ入力を切り替えます。

音声多重切り替え

B



メイン音声／サブ音声を切り替えます。

チャンネル選択

C



受信するチャンネルを選択します。

ダイレクトチューニング

D

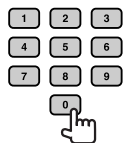


このボタンに続けて、受信するチャンネルをテンキーで指定します。
例：1チャンネルの場合

0 1

テンキー

E



メモリーされている放送局の番号を選択します。(**1** ~ **6**)
ダイレクトチューニングキーに続けて、受信するTVチャンネルの数字を指定します。

ディスプレイ表示切り替え

F

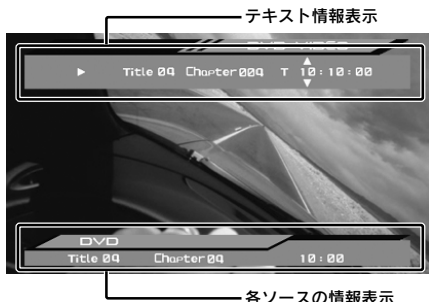


映像V SELを切り替えます。

リモートコントロール

On Screen Display

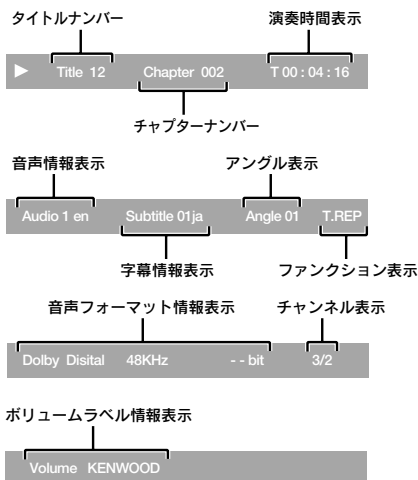
別売品のテレビモニターを接続しているときは、以下のように情報がTVモニターに表示されます。



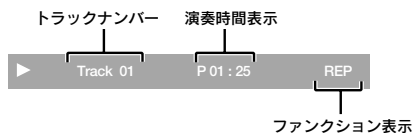
テキスト情報表示は、DVD/CD/MP3/WMA/VCDモード中にリモコンの [DISP] ボタンを押すと次のように切り替わります。

- 接続しているTVモニターでは、2 byte文字（漢字など）を使用しているテキスト情報を正しく表示することができません。
 - テキスト情報をスクロール設定することはできません。
 - 「テキスト情報表示」の設定は、以下の操作を行うと初期化されます。
 - 本機の電源やACCをオフ/オンしたとき。
 - ディスクをイジェクトしたとき。
 - ソースを切り替えたとき。
- また、初期化された場合「テキスト情報表示」は以下の表示になります。
- DVD/VCDモード：情報表示なし
 - CDモード：トラックナンバー、演奏時間表示、ファンクション表示
 - MP3/WMAモード：フォルダナンバー、ファイルナンバー、演奏時間表示、ファンクション表示

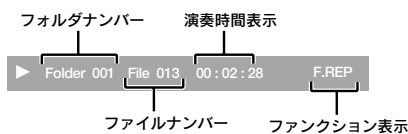
DVDモード



CDモード



MP3/WMAモード

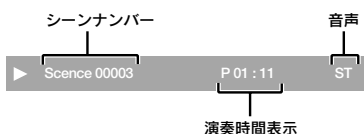


ファイル/フォルダセレクト画面



VCDモード

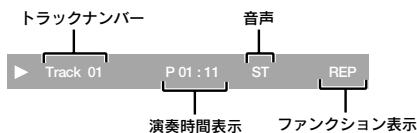
PBC オン時



ボリュームラベル情報表示



PBC オフ時



ボリュームラベル情報表示



Help ? MP3/WMA

本機はMP3/WMAファイルをプレイすることができますが、使用できるMP3/WMAファイルを記録したメディアやフォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。また、以下は本機に表示できる制限を記載しています。接続している別売品のユニット（テレビモニターなど）では正常に表示されないことがあります。

使用できるメディア

使用できるMP3/WMAを収録するためのメディアはCD-ROM、CD-R、およびCD-RWです。

プレイできるMP3フォーマット

本機でプレイできるMP3ファイルは、MPEG 1 Audio Layer 3です。

- サンプル周波数
: 32,44,1,48 (kHz)
- ビットレート: 32~ 320 (kbps)

プレイできるWMAフォーマット

本機でプレイできるWMAファイルは以下のフォーマットのもので。

- Windows Media™ Audio 準拠
- サンプル周波数: 32,44,1,48 (kHz)
- ビットレート: 48~ 192 (kbps)

Windows Media™ Player 9以上の一部の機能を使用すると正常にプレイできない場合があります。

詳しい対応フォーマットに関する情報は、下記URLをご覧ください。

URL:http://www.kenwood.com/j/products/car_audio/q_and_a.html

また、コピープロテクト（著作権保護）されたファイルはプレイできません。

使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名に付けられる最大文字数（区切り文字“.”と拡張子3文字を含む）です。

- ISO 9660 Level 1: 12文字
- ISO 9660 Level 2: 31文字
- Joliet: 64文字
- Romeo: 128文字

なお、ロングファイル名形式で書き込んだ場合は、170文字まで表示が可能です。

使用できる文字はライティングソフトの説明書および下記「ファイル名とフォルダ名の入力」を参照してください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大ディレクトリ階層: 8階層
- 1フォルダ中の最大ファイル数: 255
- 最大フォルダ数: 100
- 最大フォルダ名: 64文字

前記のフォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは、正常にプレイされなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

圧縮ソフトとライティングソフトの設定

MP3/WMAファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は“128kbps”の“固定”を推奨します。何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてください。

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数文字、カナ文字または日本語で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。また、ライティングソフトや使用するディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトの説明書をご覧ください。

また、MP3/WMAファイルと認識されてプレイされるファイルは、“.MP3”または“.WMA”の拡張子が付いたものだけです。MP3/WMAファイルには、“.MP3”または“.WMA”拡張子を付けて保存してください。



禁止

MP3/WMA以外のファイルに、“.MP3”または“.WMA”の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生をしてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。MP3/WMA以外のファイルに、“.MP3”または“.WMA”拡張子を付けないようにしてください。

ID3/WMA Tagについて

本機で表示できるID3 Tagは、ID3 Tag v1.x規格で記録された曲名、アーティスト名、およびアルバム名です。また、表示できる文字種は英数文字、カタカナ、日本語（シフトJIS）です。

ID3 Tagで表示できるのは、曲名、アーティスト名およびアルバム名の30文字までです。

また、WMA Tagで表示できるのは、曲名およびアーティスト名の30文字までです。

メディアに書き込むファイルについて

MP3/WMAが収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。このため、プレイするメディアに多くのフォルダやMP3/WMA以外のファイルを書き込むと、プレイするまで長時間必要になります。

また、次のMP3/WMAファイルのプレイに移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

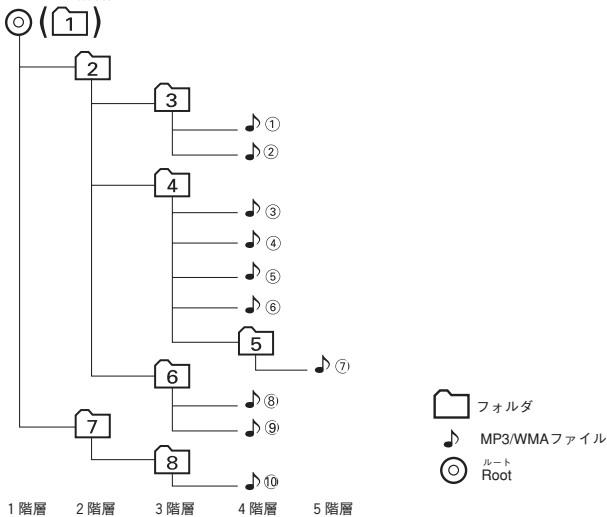
MP3/WMAファイルをプレイする順番

プレイ、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、プレイされると予想していた順番と実際にプレイされる順番が一致しないことがあります。


ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭にプレイする順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、プレイする順番を設定できることがあります。

以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は次のようになります。


メディアの階層例







♪ ④ 再生中にファイルサーチを行うと…

<div>押すボタン</div> <div>プレイ中の ファイルNo.</div>	<div>  </div>	<div>  </div>
<div>  </div>	<div>  ④の最初  </div>	<div>   </div>

♪ ④ 再生中にフォルダサーチを行うと…

押すボタン 現在のフォルダNo.	 ← AM	 ← FM
 4	 3 →  2 →  1 →  8 ...	 5 →  6 →  7 →  8 →  1 ...

♪ ④ 再生中にフォルダセレクトを行うと…


<div>ボタン操作</div> <div>現在のフォルダNo.</div>	<div><</div> <div></div>	<div>></div> <div></div>	<div>▲</div> <div></div>	<div>▼</div> <div></div>
<div>4</div>	<div>3</div>	<div>6</div>	<div>2</div>	<div>5</div>

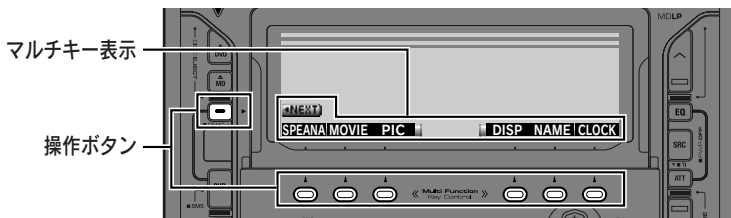
音楽などの著作物を個人的に楽しむなどの場合を除き、著作権者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

Help ? Multi Key

マルチキーコントロールとは、6個のボタンに割りあてられる機能が操作モードごとに切り替わるシステムです。

通常の音楽を聴いている状態では、ソースキーモードとディスプレイキーモードがあります。

本書では、**Before CHECK** <ソースキーモード>または**Before CHECK** <ディスプレイキーモード>と表記している機能は、 ボタンを押して対応のキーモードにしてから操作をすることを表しています。




ディスプレイキーモード中の機能

ディスプレイコントロール（52～59ページ）とName Set（48～51ページ）の機能を使うことができます。

ソースキーモード中の機能

CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFプレイ（18～25ページ）、DVD/VCDプレイ（26～33ページ）、TUNERモード（44～47ページ）およびTVモード（90～91ページ）など、音楽ソースの機能を使うことができます。

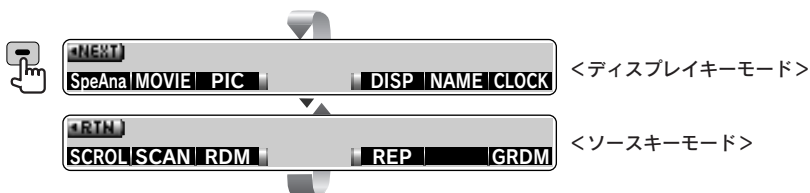


AUX中や交通情報受信中などモードが切り替わらないときは、 ボタンのマルチキー表示は表示されません。

ソースキーモードの操作例

MDをプレイ中にスキャンプレイをするときは…

1. <ソースキーモード>にします

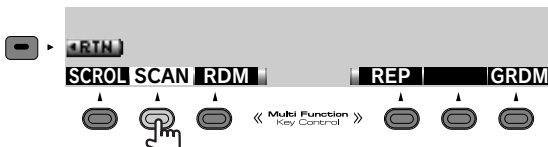


マルチキー表示を<ソースキーモード>にします。



<ソースキーモード>になっている場合は、手順2へ進みます。

2. スキャンプレイをオン/オフします



マルチキー表示内の“SCAN”表示（スキャンプレイの操作ボタンであることを表しています）の下ボタンを押します。

押すたびにスキャンプレイがオン/オフします。



詳しいスキャンプレイの操作方法については「スキャンプレイ」（20ページ）を参照してください。

電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。

- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 「電源ハーネスの接続」(130ページ)を参照して正しく接続し直してください。

音が出ない/音が小さい

- フェダー、バランスが片方に寄っている。
- 「ファンクションセット」の“内蔵AMP”項目が“Off”に設定されている。
- 入出力ケーブルなどの接続が間違っている。
- 録音レベルの小さいDVDを再生している。

- フェダーやバランスを正しく調整してください。(60ページ)
- 「ファンクションセット」(86ページ)の“内蔵AMP”項目を“On”に設定してください。
- 「電源ハーネスの接続」(130ページ)を見て正しく接続し直してください。
- 録音レベルに合わせて音量を調節するか(14ページ)、「オーディオコントロール」(60ページ)で“Volume Offset”を調整してください。

操作スイッチを押しても動作しない

- 操作パネルがスライドしている。
- 内蔵のマイコンが誤動作している。
- モニター画面に“⊖”が表示される。

- 操作パネルを閉じてください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)
- ディスクにより禁止されている操作を行うことはできません。

音質が悪い(音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。

- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がきちんと接続されていない。

- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「システム配線」(132ページ)を参照して正しく接続し直してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

SRCボタンを押しても、望むソースに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。
- 別売品ユニットのO-NスイッチをO側にしている。
- 本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。

- 接続されていないソースには切り替わりません。「システム配線」(132ページ)を見て正しく接続してください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)
- O-NスイッチはN側に設定してください。
- 対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。(8ページ)

映像が出ない

- パーキングブレーキ検出コードを接続していない。
- パーキングブレーキが引かれていない。

- 「システム配線」(132ページ)を見てパーキングブレーキ検出コードを正しく接続し直してください。
- パーキングブレーキを引かないとフロント映像出力に接続されたTVモニター等の映像を観ることができません。

映像が乱れる

コードやケーブルが干渉している。

TVモニターの配線の時はコードやケーブルが交差しないようにしてください。

DVD/VCD/CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFプレイ

SRCボタンを押してもディスクがプレイできない

ディスクが入っていない。

プレイするディスクを入れてください。

ディスクが入らない

すでにディスクが入っている。

入っているディスクを取り出してから入れてください。

MDが引き込まれない

MDを入れる方向が間違っている、または裏返しになっている。

正しい方向で入れてください。

ディスクのプレイ中に振動で映像や音が切れる

- 取り付け角度が30°を超えている。
- 取り付けが不安定になっている。

- 30°以下になるように取り付け直してください。
- しっかりと取り付け直してください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

DVD/VCD/CD/MP3/WMAをプレイできない

- DVD/VCD/CD/MP3/WMAが裏返しである。
- DVD/VCD/CD/MP3/WMAが異常に汚れている。
- 結露している。
- DVD/VCD/CD/MP3/WMAが内部的に検出されていない。

- レーベル面を上にして入れ直してください。
- 「ディスクの取り扱い」(12ページ)を見て、DVD/VCD/CD/MP3/WMAをクリーニングしてください。
- しばらく放置してから使用してください。(9ページ)
- リセットボタンを押してDVD/VCD/CD/MP3/WMAを取り出しから、再度DVD/VCD/CD/MP3/WMAを挿入してください。(8ページ)

DVD/VCD/CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFプレイ

MDをプレイできない

結露している。

しばらく放置してから使用してください。(9ページ)

映像が乱れる

早送り/早戻ししている。

多少乱れることがありますが、故障ではありません。

音声言語/字幕言語/アングルが切り替わらない/優先言語にならない

複数の言語/字幕/アングルが記録されていない。

メニューで切り替えられる場合がありますので、ディスクの取扱説明書をご覧ください。

VCDでメニュー (P.B.C.) が出てこない

VCDにP.B.C. (プレイバックコントロール) が記録されていない。

VCDにP.B.C. (プレイバックコントロール) が記録されていると操作することができます。

DVDを選んでも再生しない

パレンタル (視聴規制) がされている。

パレンタル (視聴規制) を解除、または規制レベルを変更してください。(40ページ)

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(18ページ)

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

トラックリビートプレイがオンになっている。

トラックリビートプレイをオフにしてください。(20ページ)

曲の先頭しかプレイされない

スキャンプレイがオンになっている。

スキャンプレイをオフにしてください。(20ページ)

チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

ディスクリビートプレイがオンになっている。

ディスクリビートプレイをオフにしてください。(20ページ)

曲が順にプレイされない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(18ページ)

ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。

マガジンランダムプレイをオフにしてください。(19ページ)

DVD/VCD/CD/MP3/WMAがイジェクトできない

ディスクがイジェクト途中で止まっている。

DVD EJECTボタンをDVD/VCD/CD/MP3/WMAがイジェクトするまで押し続けてください。

文字がスクロールされない

ディスクネームを表示しているため。

スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、曲名/アーティスト名、アルバム名、グループネーム、およびボリュームラベルです。

ALL OFFモードにするとDVD/VCD/CD/MP3/WMAがディスクの先頭へ戻る

- 「ファンクションセット」の“DVD漢字優先”、“CD読み取りモード”項目を変更した。
- 「CD設定メニュー」の、“CD Read”項目を変更した。

- “DVD漢字優先”、“CD読み取りモード”項目の設定を行うと1曲目の演奏に戻ります。(86ページ)
- “CD Read”項目の設定を行うと1曲目の演奏に戻ります。(37ページ)

ALL OFFモードにするとMDが1曲目の演奏に戻る

「ファンクションセット」の“MD漢字優先表示”項目を変更した。

“MD漢字優先表示”項目の設定を行うと1曲目の演奏に戻ります。(86ページ)

CD-R、CD-RWがプレイできない

- ファイナライズ処理を行っていない。
- CD-R/CD-RWに未対応のCDチェンジャーでプレイしている。

- CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。
- CD-R/CD-RW未対応のCDチェンジャーではプレイできません。

DVD-R/DVD+R、DVD-RW/DVD+RWがプレイできない

DVDレコーダーの取扱説明書を見てください。

—

リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。

各機能をボタンでオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

DVD/VCD/CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFプレイ

ダイレクトディスクサーチができない

ディスクが1枚しか入っていない。

マガジンにディスクを2枚以上挿入してください。

マガジンランダムプレイができない

ディスクが1枚しか入っていない。

ディスクを2枚以上挿入してください。

トラックサーチできない

チェンジャー内のディスクをプレイ中に最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。

ディスクリビート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

ディスクを取り出せない

車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。

ACCスイッチをオフにしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

CDテキストが表示されない

- 使用しているディスクチェンジャーが1997年以前に発売のディスクチェンジャーで、O-Nスイッチがない。
- 使用しているディスクチェンジャーの“O-Nスイッチ”を“O”にしている。

- 1998年以降に発売のディスクチェンジャーを使用してください。

- ディスクチェンジャーに“O-Nスイッチ”が付いている場合は、“O-Nスイッチ”を“N”にしてください。

VCDがプレイできない

- 「ファンクションセット」の“CD読み取りモード”項目を“2”に設定している。
- 「CD設定メニュー」の、“CD Read”項目を“2”に設定している。

- 「ファンクションセット」(86ページ)の“CD読み取りモード”を“1”に設定してください。
- 「CD設定メニュー」(37ページ)の“CD Read”を“1”に設定してください。

パレンタル暗証番号を忘れた

パレンタル暗証番号を調べることはできません。

ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

MD Group

MDグループ機能が働かない

「ファンクションセット」の“MD Group”項目を“Off”に設定しているため、ディスクタイトルとグループタイトルとがすべて表示されている。

「ファンクションセット」(86ページ)の“MD Group”項目を“On”に設定してください。

グループ登録済みMDが登録した順番どおりにプレイされない

- グループ機能を搭載していない編集機などで編集を行った。
- グループタイトルに“/”が付いている。

- グループ機能を搭載した編集機などで、グループを登録しなおしてください。
- グループ情報が正しく認識できないため、グループタイトルに“/”は付けしないでください。

ディスクタイトルが正しく表示されない

「ファンクションセット」の“MD Group”項目を“Off”に設定している。

“MD Group”項目を“Off”に設定時はグループ情報が表示されます。

ディスクタイトルが表示できない

ディスクタイトルとグループタイトルとが異なる種類の文字で登録されている。

ディスクタイトルとグループタイトルとが異なる種類の文字で登録されているMDでは、ディスクタイトルが表示できないことがあります。グループ機能を搭載した編集機などでディスクタイトルを登録し直してください。

聴きたい曲が選択できない

グループに登録されていない。

聴きたい曲を何らかのグループに登録するか、「ファンクションセット」(86ページ)の“MD Group”項目を“Off”に設定してください。

MDのプレイが1曲目に戻る

「ファンクションセット」の“MD Group”項目の設定を行った。

MDをプレイ中に「ファンクションセット」(86ページ)の“MD Group”の設定を行うとMDのプレイが1曲目に戻ります。

MP3/WMA

MP3/WMAファイルがプレイできない

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。
- MP3/WMA ファイルに拡張子が付いていない。
- 「ファンクションセット」の“CD読み取りモード”項目を“2”に設定している。
- 「CD設定メニュー」の“CD Read”項目を“2”に設定している。
- ディスクに傷や汚れがある。
- MP3/WMA ファイル本機で再生できる記録方式で記録されていない。
- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeo (104ページ) に準拠したディスクを使用してください。
- MP3ファイルには“MP3”/“WMA”を付けてください。
- 「ファンクションセット」(86ページ)の“CD読み取りモード”を“1”に設定してください。
- 「CD設定メニュー」(37ページ)の“CD Read”を“1”に設定してください。
- 「ディスクの取り扱い」(12ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。
- 「Help? MP3/WMA」(104ページ)を見て、本機で再生できる方式で記録しなおしてください。

MP3/WMAファイルをプレイ中に音飛びする

ディスクに傷や汚れがある。

「ディスクの取り扱い」(12ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

MP3/WMAファイルをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる

MP3/WMA ファイル以外のファイルに“MP3”/“WMA”拡張子が付いている。

MP3/WMAファイル以外のファイルに付いている“MP3”/“WMA”拡張子を消去してください。

フォルダネーム/ファイルネームが正しく表示されない

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。
- ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeo (104ページ) に準拠したディスクを使用してください。
- ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。

演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

MP3/WMA ファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

MP3/WMAファイルをプレイするまで時間がかかる

ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。

最初にメディア内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、プレイされるまで長時間かかる場合があります。

MP3/WMAファイルが順番どおりにプレイされない

プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。

ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“00”～“99”などを入力してから書き込むことで順番を設定できる場合もあります。

ID3 Tag情報が正しく表示されない

ID3 tagがv1.xに準拠して記録されていない。

ID3 tagをv1.xに準拠して記録してください。

CD-RWに記録したMP3/WMAファイルがプレイされない

CD-RWのフォーマットを簡易フォーマットで行ったため。

CD-RWをフォーマットするときは、フルフォーマットで行ってください。

ファイルサーチできない

最初の曲で前の曲へ、最後の曲で先の曲へファイルサーチしようとしている。

フォルダリビート中などを除き、最初の曲から最後の曲へ、最後の曲から最初の曲へはファイルサーチできません。

Function

セキュリティコード項目が表示されない

すでにセキュリティコードを設定してある。

セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、ファンクションセット項目から削除されます。

セキュリティコードを忘れた

セキュリティコードを調べることはできません。

ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

Name Set

DNPSができない

- MDをプレイしている。
- マガジンランダムプレイがオンになっている。
- MP3/WMA/DVD/VCD ファイルをプレイしている。
- MDにDNPSはできません。
- マガジンランダムプレイをオフにしてください。
- MP3/WMA/DVD/VCDが収録されたメディアにDNPSはできません。

登録したはずのステーションネームが消えた

- 31局目のステーションネームを登録した。
- 本機をバッテリーから外したため。
- 登録できるステーションネームは30局分です。
- 本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。

登録したはずのディスクネームが消えた

- 51枚目のディスクネームを登録した。
- 本機をバッテリーから外したため。
- 登録できるディスクネームは本機のCDプレーヤーとCDチェンジャーを合わせて50枚分です。
- 本機をバッテリーから外すとディスクネームは消去されます。

登録したはずのAUXネームが“AUX”に戻る

- 本機をバッテリーから外したため。
- 本機をバッテリーから外すとAUXネームは“AUX”に戻ります。

ディスクネームがまちがって表示される

- 総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。
- 識別する方法はありません。

“No Disc” と表示される

- マガジンにディスクが入っていない。
- ディスクを入れてください。

オーディオコントロール

NAV. Volume項目が表示されない

ファンクションセットの“ナビガイド”項目が“Off”、“ATT”に設定されている。

「ファンクションセット」(86ページ)の“ナビガイド”項目を“INT”に設定してください。

AUX Volume項目が表示されない

内蔵AUXソースを選択していない。

「ファンクションセット」(86ページ)の“内蔵AUX”項目を“On”に設定して、内蔵のAUXソースに切り替えた後にオーディオコントロールにしてください。

サウンドマネジメントシステム/サラウンドコントロール/イコライザーコントロール

サウンドフィールドコントロール (SFC) 効果が得られない

- 2スピーカーシステムになっている。
- フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。
- スピーカーの極性が逆に接続されている。
- フェダーまたはバランスの調整が片側に片寄っている。

- 4スピーカーシステムにしてください。
- 「電源ハーネスの接続」(130ページ)を参照して正しく接続し直してください。
- 「オーディオコントロール」(60ページ)を参照して、フェダーやバランスを中央に調整してください。

ニュアンス、バスブーストが調整できない

サウンドフィールドコントロール設定が“BYPASS”または“BYPASS+CENTER”に設定されている。

サウンドフィールドコントロール設定を“BYPASS”または“BYPASS+CENTER”以外に設定してください。(76ページ)

言語コード

コード	言語	コード	言語	コード	言語
aa	アファル語	ie	国際語	rn	キルンディ語
ab	アブバジア語	ik	Inupiak語	ro	ルーマニア語
af	アフリカーンス語	in	インドネシア語	ru	ロシア語
am	アムハラ語	is	アイスランド語	rw	キニヤルワンダ語
ar	アラビア語	it	イタリア語	sa	サンスクリット語
as	アッサム語	iw	ヘブライ語	sd	シンド語
ay	アイマラ語	ja	日本語	sg	サンゴ語
az	アゼルバイジャン語	ji	イディッシュ語	sh	セルビアクロアチア語
ba	バシキール語	jw	ジャワ語	si	シンハラ語
be	ベラルーシ語	ka	グルジア語	sk	スロバキア語
bg	ブルガリア語	kk	カザフ語	sl	スロベニア語
bh	ビハリー語	kl	グリーンランド語	sm	サモア語
bi	ビスラマ語	km	カンボジア語	sn	ショナ語
bn	ベンガル語、バングラ語	kn	カンナダ語	so	ソマリ語
bo	チベット語	ko	韓国語	sq	アルバニア語
br	ブルトン語	ks	カシミール語	sr	セルビア語
ca	カタロニア語	ku	クルド語	ss	シスワティ語
co	コルシカ語	ky	キルギス語	st	セストウ語
cs	チェコ語	la	ラテン語	su	スندا語
cy	ウェールズ語	ln	リンガラ語	sv	スウェーデン語
da	デンマーク語	lo	ラオス語	sw	スワヒリ語
de	ドイツ語	lt	リトアニア語	ta	タミール語
dz	ブータン語	lv	ラトビア語、レット語	te	テルグ語
el	ギリシャ語	mg	マダガスカル語	tg	タジク語
en	英語	mi	マオリ語	th	タイ語
eo	エスペラント語	mk	マケドニア語	ti	ティグリニャ語
es	スペイン語	ml	マラーヤラム語	tk	トゥルクメン語
et	エストニア語	mn	モンゴル語	tl	タガログ語
eu	バスク語	mo	モルダビア語	tn	セツワナ語
fa	ペルシャ語	mr	マラータ語	to	トンガ語
fi	フィンランド語	ms	マレー語	tr	トルコ語
fj	フィジー語	mt	マルタ語	ts	ツォンガ語
fo	フェロー語	my	ミャンマー語	tt	タタール語
fr	フランス語	na	ナウル語	tw	トウィ語
fy	フリジア語	ne	ネパール語	uk	ウクライナ語
ga	アイルランド語	nl	オランダ語	ur	ウルドゥー語
gd	スコットランドゲール語	no	ノルウェー語	uz	ウズベク語
gl	ガルシア語	oc	プロバンス語	vi	ベトナム語
gn	グアラニ語	om	(アフン) オロモ語	vo	ボラビュク語
gu	グジャラート語	or	オリヤー語	wo	ウォロフ語
ha	ハウサ語	pa	パンジャブ語	xh	コーサ語
hi	ヒンディー語	pl	ポーランド語	yo	ヨルバ語
hr	クロアチア語	ps	パシュトー語	zh	中国語
hu	ハンガリー語	pt	ポルトガル語	zu	ズール語
hy	アルメニア語	qu	ケチュア語		
ia	国際語	rm	ラエティ＝ロマン語		

共通

LX BUS TVモニター

(エルエックスバステレビモニター)

外部接続された別売品のTVモニター (f-LZ77など) やナビゲーションシステム (HDX-710など) です。

MDLP

(エムディーエルピー)

MDの記録方式の規格です。本機ではMDLP2モードとMDLP4モードで録音されたMDをプレイできます。

MP3

(エムピイスリー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。

使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? MP3/WMA」(104ページ)をご覧ください。

PBC (プレイバックコントロール)

本機は、プレイバックコントロール (PBC) 付き対応VCD (バージョン2.0) に対応しています。

PBCとはディスクに記録されているメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を対話形式で楽しむことができることを言います。

WMA

(Windows Media™ Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。

使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? MP3/WMA」(104ページ)をご覧ください。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー (KDC-C520, KDC-C510, KDC-C406など)、マルチメディアプレーヤー (VD-C77) です。

タイトル

DVDビデオディスクに記録されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。

チャプター

タイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。

トラック

CD/VCD(PBCオフ時)に収録されている曲の区切り(1曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラックナンバーと呼びます。

パレンタルロック (視聴規制)

視聴年齢制限をするためのDVDの機能。DVDにより制限のしかたは異なり、全く再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、差し替えたりして再生をします。

サウンドマネジメントシステム/ サラウンドコントロール

Digital X'over HPF-Center/HPF-Front/HPF-Rear

(デジタルクロス オーバー・ハイパス フィルター センター/ハイパス フィルター フロント/ハイパス フィルター リア)

サブウーファーを追加するとき、この機能を使って高・中音用のスピーカーから低音を削除することができます。

設定した周波数より低い音域をカットします。“Through” に設定すると、この機能を無効にすることができます。

Digital X'over Front Slope/Rear Slope/Center Slope

(デジタルクロス オーバー・フロント スロープ設定/リア スロープ設定/センター スロープ設定)

HPF-Front/HPF-Rear/HPF-Centerで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。

1 オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。スピーカーに応じたスロープ設定により、特に超低域をカットすることにより、音にならない不要な振動を抑制できます。

Digital X'over LPF

(デジタルクロス オーバー・ローパス フィルター)

サブウーファー出力から高音を削除することができます。サブウーファー出力をサブウーファー用として使用するとき、この機能で低域のみの音にすることができます。

設定した周波数より高い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。

Digital X'over LPF Slope

(デジタルクロス オーバー・ローパス フィルター スロープ設定)

Digital X'over LPFで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。

1 オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。

Digital X'over Sub Phase

(デジタルクロス オーバー・サブウーファー位相設定)

サブウーファー出力の位相を反転する機能です。

フロント出力やリア出力とサブウーファー出力の位相が合っていないと音量が小さくなります。この機能で位相を合わせることで、音量が小さくなるのを防ぐことができます。

Dolby Digital

(ドルビーデジタル)

ドルビー研究所の開発したデジタル音声の圧縮技術です。5.1チャンネル・サラウンドに対応しています。すべてのチャンネルを完全に分離した形で記録されているため、大量の音声データを効率良くディスクに収められ、またデジタルのため劣化ににくい特長があります。

Dolby Pro LogicII

(ドルビープロロジックII)

最新のデジタルマトリクス技術を応用し、これまでのDolby Pro Logicをさらに進化させたマトリクスデコード技術です。

ドルビーサラウンドをはじめ、CDのようなステレオ音源に対しても優れた5.1ch再生を実現します。

サラウンドチャンネルはフルバンド化（20Hz～20kHz）、ステレオ化されたあらゆるステレオ音源を5.1chの迫力あるサウンドでお楽しみいただけます。再生するソースに合わせてMUSICモード、MOVIEモード、MATRIXードから選択できます。

MUSIC: サウンド空間を好みに合わせて設計することができます。音楽CD時/ステレオ音声再生時に使用します。

MOVIE: ステレオ/サラウンド2chで録音されたDVD/VCD等を再生する時に使用します。

MATRIX: Tuner等の受信状態が悪いときやモノラル音声再生時に使用します。

なお、Dolby Pro Logic IIに切り替えたときは、特性上音量が小さくなります。

Dolby Pro Logic II MUSIC

(ドルビープロロジックII ミュージック)

「ドルビープロロジックII サラウンド設定」(74ページ)で設定値の微調整ができます。

Panorama: ステレオ感を大きくし、音に包まれているような感覚を作ります。

Dimension: フロント/リアの配分を調整し、サラウンド環境の定位を設定します。

Center Width: センター音声の左右に振り分けられる配分を調整してボーカルイメージの位置を設定します。設定値が大きくなる程左右へ音声広がるような音場を作ります。

DTS : Digital Theater System

(ディジタルシアターシステム)

ディジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTSサウンドシステム」の家庭用ディジタルサラウンドフォーマットです。

DTSは6本の独立した音声トラックを持ち、劇場公開映画などで使われている高品位の臨場感あふれるDTSサラウンドを楽しめます。

SFC

(サウンドフィールドコントロール)

音楽信号をディジタル処理することです。これにより、反射音や残響音などの音響効果を作り、擬似的にコンサートホールなどの音場空間を作り出します。また、イコライザー機能やクロスオーバー機能として音質を調整できます。

デジタルタイムアライメント

センター、フロント、リア、サブウーファースから出力される音を遅延させることにより、スピーカーの位置を擬似的にずらすことができる機能です。車種やスピーカー取り付け位置にとらわれずに最適な効果が得られます。

オーディオコントロール

AMP Bass

(アンプバスコントロール)

EXT.CONT.コードで接続した別売品のB.M.S機能搭載パワーアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。

変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

B.M.S機能搭載アンプについては、カタログをご覧ください。

AMP Freq

(アンプフリケンシー)

「AMP Bass」で設定した低音増幅の中心周波数を調整する機能です。

“Low”に設定すると、周波数が20～30%低くなります。

詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

AUX Volume

(エーユーエックスボリューム)

外部入力する音量がCDなどソースの音量より小さい場合、この機能で音量差を減らすことができます。

NAV. Volume

(ナビボリューム)

ナビ音声案内時のナビ音声案内の音量を設定することができ機能です。

Volume Offset

(ボリュームオフセット)

オーディオコントロールで“Volume Offset”を設定すると、聴く時点での音量に対して、各ソースごとで音量差を設定しておくことができます。

Function

AUX

(エーユーエックス)

ビデオ/ナビゲーションなどの外部機器の出力を入力する機能です。

AUX端子から入力された音は、AUXソースに切り替えることにより、本システムを使って聴くことができます。

また、ファンクションセットで、ソース選択時にAUXソースも含めて切り替えるかを設定できます。AUX入力を使用していないときは、「Off」に設定しておけば、AUXソースに切り替わらないので、スムーズなソース切り替えができます。

BEEP

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように「ピッ」音がする機能です。押してすぐ離れたときには「ピッ」と鳴り、1秒以上または2秒以上押して機能をオンにしたときには「ピッピッ」と鳴ります。うるさく感じたときには「Off」に設定することにより消すことができます。

なお、BEEP音はプリアウトからは出力されません。

CD読み取りモード

特殊なフォーマットのCDをプレイ時に、正常にプレイができない場合に「2」を設定すると強制的にCDをプレイすることができる機能です。

なお、「2」に設定しても、音楽CDによってはプレイできない場合があります。また、「2」に設定するとVCD/MP3/WMAのプレイはできなくなります。通常は「1」でお使いください。

- 1：VCD/MP3/WMA/CDプレイ時にVCD/MP3/WMAディスクと音楽CDを自動認識して再生します。
- 2：音楽CDとして強制的にプレイします。

DVD漢字優先/MD漢字優先表示

CDテキストやMDタイトルなどが漢字およびカタカナまたは英数大文字/小文字で記録されているディスクを聴いているときに、これらを漢字で表示するか、カタカナまたは英数大文字/小文字で表示するかの設定ができます。

On：漢字で表示（漢字が登録されていない場合は、カタカナまたは英/数文字で表示）

Off：カタカナまたは英/数文字で表示

MD Group

(エムディグループ)

この機能をオンにしておくと、グループ登録済みMDを再生中に、グループサーチ、グループリピートプレイ、グループランダムプレイ、およびグループセレクトのMDグループ機能を使うことができます。

このとき、グループに未登録の曲は再生されませんので、何らかのグループに登録するか、この機能をオフにしてください。

MDグループ機能については「Help? MD Group」(106ページ) もご覧ください。

MONO設定

(モノラル設定)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなるときがあります。

Scroll

(スクロール)

ディスプレイにディスク/トラックタイトル、グループタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、曲名/アーティスト名、ボリュームラベルまたはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

この機能を「Auto」に設定しておくときスクロール表示を繰り返し行い、「Manual」に設定しておくとき表示が変わったときだけ1回スクロール表示するようにできます。

SEEKモード

(チューニングモード)

放送局の探し方を設定することができます。

Auto 1：放送局を自動的に見つけ出します。

Auto 2：メモリーされている放送局を順番に受信します。

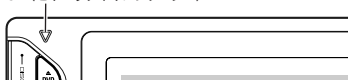
Manual：1ステップずつ周波数が変わります。

S.I機能

(セキュリティインジケータ機能)

この機能をオンにしておくと、ACCをOFFにしたときにLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。

S.I (セキュリティインジケータ)



オープニング表示

電源をオンにしたときの、デモンストレーション表示の有無を設定できます。

セキュリティ登録

セキュリティコードを設定しておくと、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

内蔵AMP

(内蔵アンプ出力設定)

フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるようなときは、この機能を“Off”に設定することにより、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。

内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトからの音声出力のクオリティをアップさせることができます。

ナビガイド

カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の動作を設定することができます。この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。

ATT：ナビ音声ガイド時は、オーディオの音を小さくします。

INT：ナビ音声ガイドをフロントスピーカーから出力します。

この機能を“INT”に設定して、ナビ音声ガイドの割り込みをする場合は、「システム配線」(132ページ)を参照して、AUX入力にナビゲーションシステムを接続してください。

ケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続してこの機能を使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」機能をオンに設定してください。また、2001年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムを接続している場合は「音声割り込み」機能もオンに設定してください。

なお、この機能は1997年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムやケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

Error 04 : ●ディスクが異常に汚れている。
[Read Error] ●ディスクに傷が多く付いている。

Error 05 : ディスクが裏返しになっている。
[Unknown Disc]

Error 12 : 演奏しようとしたMDがデータ用MDです。

Eject : ●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など
●ディスクがセットされていない。

No Disc : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。

No Name : ●ステーションネームプリセットされていない放送局を受信中に、放送局名表示にしようとした。
●ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。

No Title : タイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル/グループタイトル表示にしようとした。

No Text : ●CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
●曲名、アルバム名がないMP3/WMAを再生中に、それぞれの表示にしようとした。
●ボリュームラベルがないDVD/VCDを再生中に、それぞれの表示にしようとした。

No Track : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。

Blank Disc : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。

パネルを開めてください:

操作パネルを開いているときに、操作できないボタンを押した。
→パネルを開めてから操作してください。



接続している別売品のTVモニターでは、本機と異なる表示をすることがあります。
上記、[]内がTVモニターに表示されるメッセージです。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

- Error 77** : 何らかの原因で正常に動作していない。
→本機のリセットボタンを押してください。“Error 77”の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- H-Hold [Hot Error]** : 本機のMDプレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が 60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
→本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- Hot Error** : 本機のDVDプレーヤーの内部温度が 60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
→本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- Mecha Error [Error 09/Error 19/Error 29/Error 39/Error 99]**
: ●ディスクマガジンに異常がある。
→ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
→イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

インジケーターが点滅

- : DVDプレーヤーが正常に動作していない。
→DVD/VCD/CD/MP3/WMAを取り出してから、DVD/VCD/CD/MP3/WMAを入れなおしてください。

インジケーターが点滅

- : MDプレーヤーが正常に動作していない。
→MDを取り出してから、MDを入れなおしてください。

Loading (点滅) : ディスクチェンジャー内のディスクを交換中です。

Reading : ディスクに収録されているデータのチェック中です。



接続している別売品のTVモニターでは、本機と異なる表示をすることがあります。
上記、[]内がTVモニターに表示されるメッセージです。

本機の状態を次の表示でお知らせします。

Region Code Error

- : 本機で再生できないリージョン番号のディスクを入れた。
→再生できるリージョン番号「2」または「ALL」のディスクを入れてください。

Parental Level Error

- : 本機で設定した視聴規制レベルより高い映像箇所を再生した。

Disc Error : 本機で再生できないディスクを挿入した。
[Unknown CD/Unknown DVD]



接続している別売品のTVモニターでは、本機と異なる表示をすることがあります。
上記、[]内がTVモニターに表示されるメッセージです。

取り付け時のご注意

警告



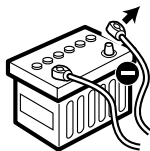
禁止



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



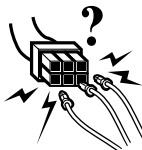
実施



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



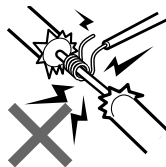
実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取することは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。

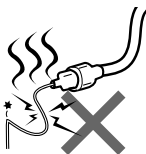


禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。

コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。

また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。

コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



注意



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

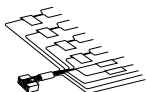
本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

取り付け用付属部品一覧



①電源ハーネス ……………1



②トラスネジ (M5×6mm) ……6



③サラネジ (M5×7mm) ……6



④セムスネジ (M4×8mm) ……1



⑤パーキングセンサー
中継コード (緑) (2m) ……1



⑥中継コネクタ ……………1

取り付け手順

1. 本機を安全に取り付けるために「取り付け時のご注意」をお読みください。
2. ショート事故防止のため、エンジンキーを抜いた後、バッテリーのマイナス端子を外します。
3. 各セットの入・出力コードを接続します。
4. ①電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
5. ①電源ハーネスのアースコード (黒)、バッテリー電源コード (黄)、アクセサリ電源コード (赤)の順に接続します。
6. ①電源ハーネスのコネクタを本機に接続します。
7. 本機を車両に取り付けます。
8. バッテリーのマイナス端子を接続します。
9. 本機のリセットボタンを押します。

中継コネクタの使いかた

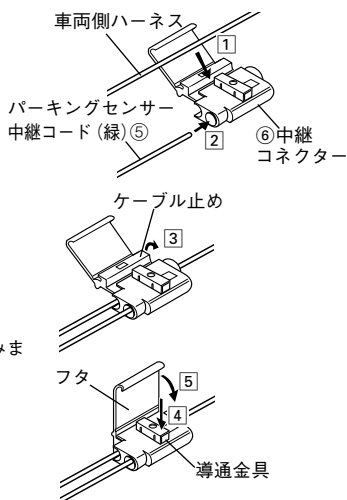
1. 車両側のハーネスを中継コネクタ⑥に差し込みます。

2. パーキングセンサー中継コード (緑)⑤を中継コネクタ⑥に差し込みます。

3. ケーブル止めをロックします。

4. プライヤーなどで導通金具を樹脂面と平らになるまで押し込みます。

5. 最後にフタをロックします。



取り付け

付属の②トラスネジ (M5 × 6mm) または③サラネジ (M5 × 7mm) 6本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



注意

- 取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が車両ブラケットなどから外れることがあります。なお、取り付けネジはトラスネジとサラネジが付属しています。

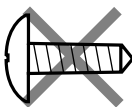
車両に合ったネジをご使用ください。



8mm
MAX



8mm
MAX



- 取り付け前にDVD、CDやMDで動作確認をする場合は、本機を水平な状態にしてローディング/イジェクトを行ってください。

④セムスネジ (M4 × 8mm) (付属)

車両ブラケットなど

別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のセムスネジで固定します。

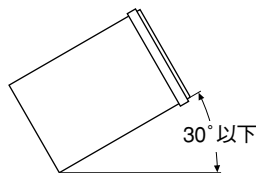
②トラスネジ (M5 × 6mm) (付属)
または③サラネジ (M5 × 7mm) (付属)

②トラスネジ (M5 × 6mm) (付属)
または③サラネジ (M5 × 7mm) (付属)



注意

- 本機の実り付け角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け／取り外しをしないでください。破損することがあります。



電源ハーネスの接続



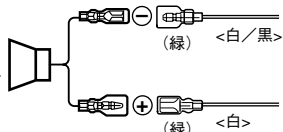
注意

- スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。

2スピーカー時の接続方法

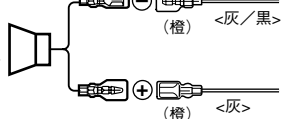
左

スピーカー



右

スピーカー



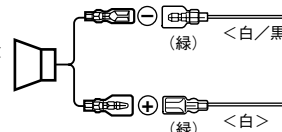
接続しません (青) <緑/黒>

接続しません (青) <緑>

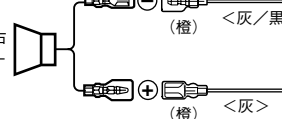
接続しません (赤) <紫/黒>

接続しません (赤) <紫>

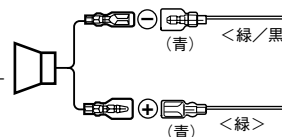
フロント左
スピーカー



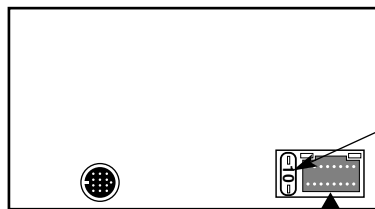
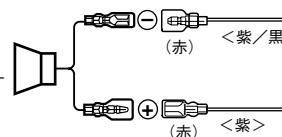
フロント右
スピーカー



リア左
スピーカー



リア右
スピーカー



①電源ハーネス

別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。＜わしくはカタログをご覧ください＞

ヒューズ (10A)



注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）と同じ容量の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

ANT CONT

アンテナコントロール（青）



オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのブースターアンプの電源端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

P.CONT

パワーコントロール（青/白）



別売品パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

LINE MUTE

ラインミュート入力（茶）



ケンウッド製ナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子に接続してください。



注意

- ラインミュート入力（茶）をケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続すると誤動作する場合があります。誤動作する場合は、「ファンクションセット」（86ページ）の“ナビガイド”項目を“Off”に設定してください。
- このコードを接続しない場合は、車両のシャーシ部分など、バッテリーのマイナス側に導通している場所に、端子が接触しないように注意してください。シャーシ部分などに接触すると、アッテネーター機能（音が小さくなる機能）の誤作動が起こる場合があります。

イルミネーション（橙/白）



車両のイルミネーション電源端子に接続してください。

ILLUMI

外部アンプコントロール（桃/黒）



別売品パワーアンプの外部アンプコントロール（“EXT.AMP.CONT.”）端子に接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。



注意

このコードは別売品のパワーアンプの音質などを本機からコントロールするためのものです。
別売品パワーアンプの電源のオン/オフをコントロールするコードは上記“パワーコントロール（青/白）”です。

ACC

アクセサリ電源（赤） \oplus
エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続してください。



アクセサリ電源

BATT

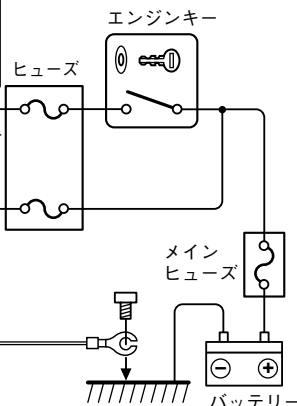
バッテリー電源（黄） \oplus
メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーのオン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。



バッテリー電源

アース（黒） \ominus

車の金属部分（バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなどの一部）へ接続してください。

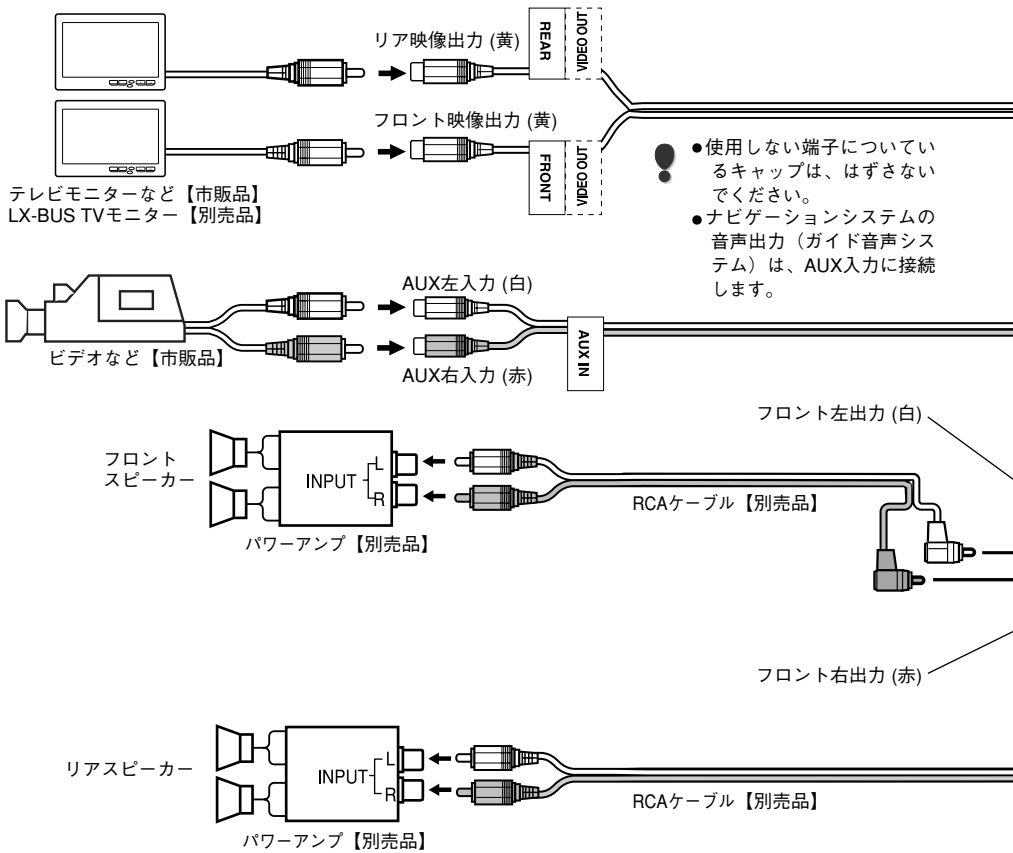


システム配線



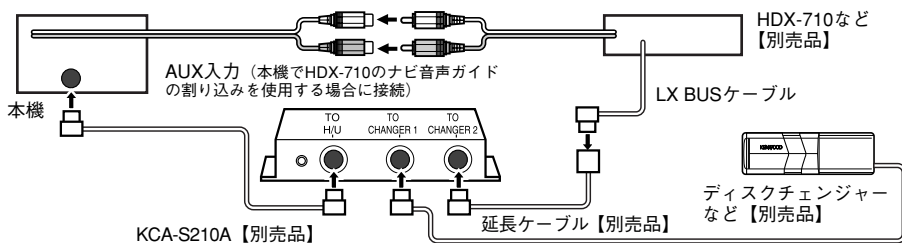
実施

安全な走行のために、リア映像出力に接続したTVモニターは運転者が見ることができる場所へは設置しないでください。



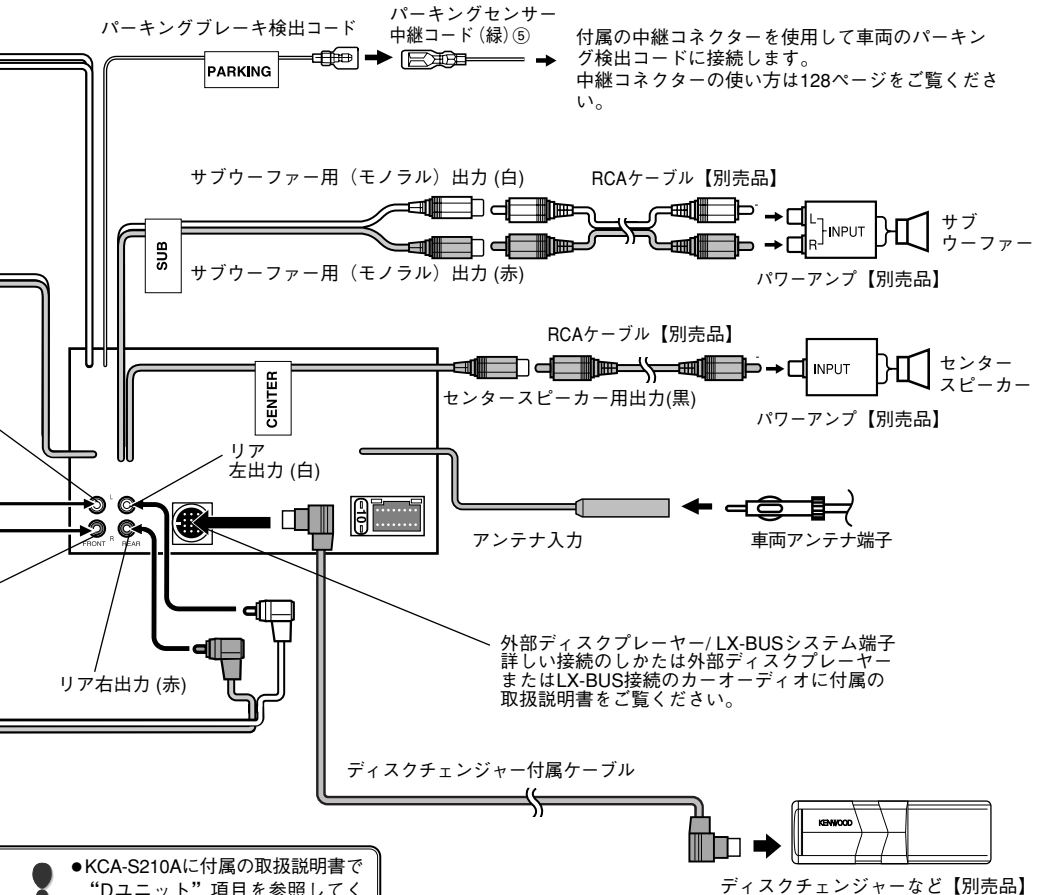
- 使用しない端子についているキャップは、はずさないでください。
- ナビゲーションシステムの音声出力（ガイド音声システム）は、AUX入力に接続します。

KCA-S210A（別売品）を使ってLX BUS TVモニターなどに接続する場合



！ 安全のため、必ずパーキングブレーキ検出コードは配線してください。

实施



- KCA-S210Aに付属の取扱説明書で“Dユニット”項目を参照してください。
- 別売品に“O-Nスイッチ”がある場合は“N”に設定してください。
- HDX-710などは、KCA-S210Aの“TO CHANGER2”端子に接続してください。
- HDX-710などでナビ割り込みを行う場合は「ファンクションセット」(86ページ)の“ナビガイド”項目を“INT”にして、LX BUSケーブルを接続してください。

- 別売品に“O-Nスイッチ”がある場合は“N”に設定してください。

保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「Help ?Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。

（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。

（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）

- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。

技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

- 部品代：修理に使用した部品代です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz～90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (± 3.0 dB)	30 Hz～15 kHz
S/N比	75 dB (MONO)
選択度 (±400 kHz)	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz～1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dB μ

MD部

レーザーダイオード	GaAlAs ($\lambda=780$ nm)
デジタルフィルター (D/A)	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	400～900 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz～20 kHz (± 1 dB)
高周波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比	90 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	90 dB
ステレオセパレーション	85 dB

DVDプレーヤー部

D/Aコンバーター	24Bit
A/Dコンバーター	20Bit
デコーダー	リニアPCM / Dolby Prologic II / Dolby Digital/ dts /MP3/WMA
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性 (96kサンプリング時) (48kサンプリング時) (44.1kサンプリング時)	20～44,000 Hz 20～22,000 Hz 20～20,000 Hz
高調波歪率	0.003 % (1 kHz)
S/N比	100 dB (DVD 96 kHz)
ダイナミックレンジ	96 dB (DVD 96 kHz)
対応ディスク	DVD-Video/VIDEO CD/ CD-DA
サンプリング周波数	44.1 Hz/48 kHz 96 kHz
量子化ビット数	16/20/24 bit
ステレオセパレーション	90 dB (DVD 96 kHz)

オーディオ部

最大出力	50 W \times 4
定格出力	30 W \times 4 (4 Ω , 1kHz, 10%THD)
プリアウトレベル	1.5 V/10 k Ω
プリアウトインピーダンス	600 Ω 以下
AUX入力周波数特性	20 Hz～20 kHz (± 1 dB)
AUX入力最大電圧	1.5 V
AUX入力インピーダンス	68 k Ω 以上
ビデオ出力 映像出力レベル	1Vp-p/75 Ω

DSP部

4 バンドパラメトリック イコライザー	60/80/100/120/160/ 200/250
BAND 1 周波数 (Hz)	315/400/500/630/800/1k
BAND 2 周波数 (Hz)	1.25/1.6k/2k/2.5k/3.15k/4k
BAND 3 周波数 (Hz)	5k/6.3k/8k/10k/12.5k/16k
BAND 4 周波数 (Hz)	
可変範囲 (dB)	± 9 dB (± 6 STEP)
尖鋭度	0.25/0.5/1.0/2.0
クロスオーバー High Pass Filter周波数 (フロント/リア/センター/独立)	30/60/70/80/90/100/ 120/150 (Hz)
SLOPE	12/18/24dB/Oct
タイムアライメント フロントL/R、リアL/R、 サブウーハー センター	0～6.1 m 0～1.7 m

電源部

電源電圧	14.4 V (11～16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D)	178 \times 100 \times 155 mm
質量 (重さ)	3.0 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ (M5 \times 6mm)	6本
サラネジ (M5 \times 7mm)	6本
セムスネジ (M4 \times 8mm)	1本
中継コネクター	1個
リモコン	1個
電池 (CR2025)	1個
パーキングセンサー 中継コード	1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にと
もない予告なく変更になる場合があります。



KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2 電話(045)933-5212 FAX(045)933-5553
カスタマーサポートセンター大阪 〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北2-1-22 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308
受付時間 9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。